

三芳町

自治基本条例についてのアンケート調査  
報告書

平成25年8月

三芳町



# 目 次

<b>第1章 調査の概要</b> .....	1
1. 調査目的 .....	3
2. 調査内容 .....	3
3. 調査実施概要 .....	3
4. 回収結果 .....	3
5. 調査結果を見る上での注意事項 .....	3
<b>第2章 調査結果の詳細</b> .....	5
1. 基本属性 .....	7
(1) 年齢 .....	7
(2) 地域 .....	8
(3) 定住意向 .....	8
(4) 居住年数 .....	10
2. 自治基本条例の認知度について .....	11
(1) 自治基本条例の認知度 .....	11
3. 現在の三芳町について .....	13
(1) 三芳町の生活で良い点、改善すべき点 .....	13
4. これからの三芳町のまちづくりについて .....	17
(1) 三芳町の行政に特に望むこと .....	17
5. 自治基本条例について .....	19
(1) 自治基本条例に定める項目で大切なこと .....	19
(2) 町政運営の基本ルールとして大切なこと .....	27
(3) 行政活動への参加や協働のまちづくりを進めるためのしくみとして大切なこと .....	35
(4) 条例策定にあたり、町長、職員の責務として大切なこと .....	43
(5) 条例策定にあたり、議会の責務として大切なこと .....	45
(6) 条例策定にあたり、住民の責務として大切なこと .....	47
6. 自治基本条例の制定や住民自治、行政運営、まちづくり等に関する意見・提案 .....	49
<b>第3章 調査票</b> .....	57



# 第1章 調査の概要



## 1. 調査目的

町では、平成23年政策研究所の成果を受け、平成24年5月から「(仮称)三芳町自治基本条例」の策定準備をはじめている。本アンケートは、自治基本条例についてのPRと今後の策定段階での参考・基礎資料とするために実施した。

## 2. 調査内容

- (1) 基本属性
- (2) 自治基本条例の認知度について
- (3) 現在の三芳町について
- (4) これからの三芳町のまちづくりについて
- (5) 自治基本条例について

## 3. 調査実施概要

本調査は、以下の要領で実施した。

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| (1) 母集団 (調査対象者)    | 町内在住18歳以上の男女         |
| (2) 標本数 (調査対象者数)   | 1,000人 (男500人、女500人) |
| (3) 標本抽出 (調査対象者抽出) | 住民基本台帳からの無作為抽出       |
| (4) 調査方法           | 郵送調査法                |
| (5) 調査期間           | 平成25年2月15日～3月15日     |

## 4. 回収結果

- (1) 標本数 (調査対象者数) 1,000人
- (2) 有効回収数 387件
- (3) 有効回収率 38.7%
- (4) 地域別回収率

	標本数	有効回収数	有効回収率
上富	95	42	44.2%
北永井	182	64	35.2%
藤久保	556	204	36.7%
竹間沢	107	45	42.1%
みよし台	60	27	45.0%
無回答	-	5	-

## 5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ問)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。

## 第1章 調査の概要



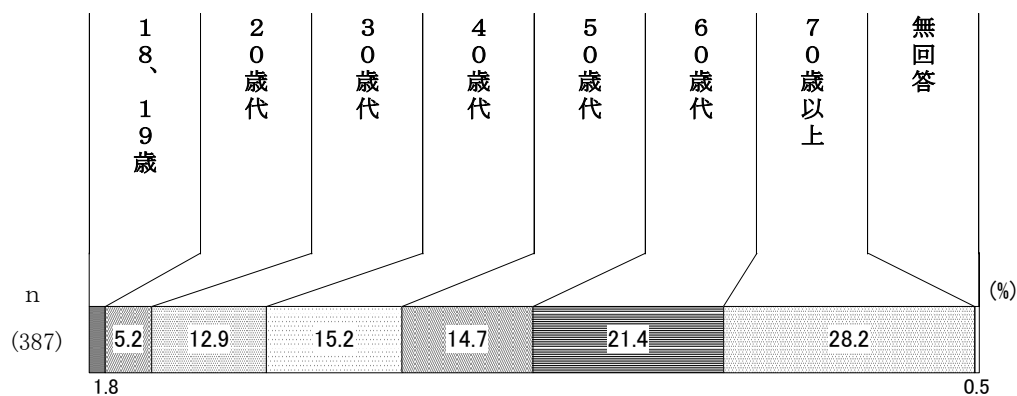
## 第2章 調査結果の詳細



## 1. 基本属性

## (1) 年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。

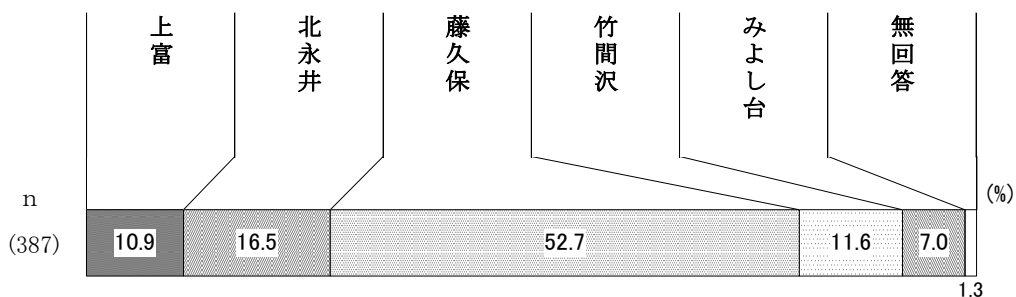


年齢は、「70歳以上」が28.2%で最も多く、次いで「60歳代」が21.4%、「40歳代」が15.2%、「50歳代」が14.7%となっている。

	基数(人)	構成比(%)
18、19歳	7	1.8
20歳代	20	5.2
30歳代	50	12.9
40歳代	59	15.2
50歳代	57	14.7
60歳代	83	21.4
70歳以上	109	28.2
(無回答)	2	0.5
合計	387	100.0

(2) 地域

問3 あなたのお住まいの地域をお答えください。

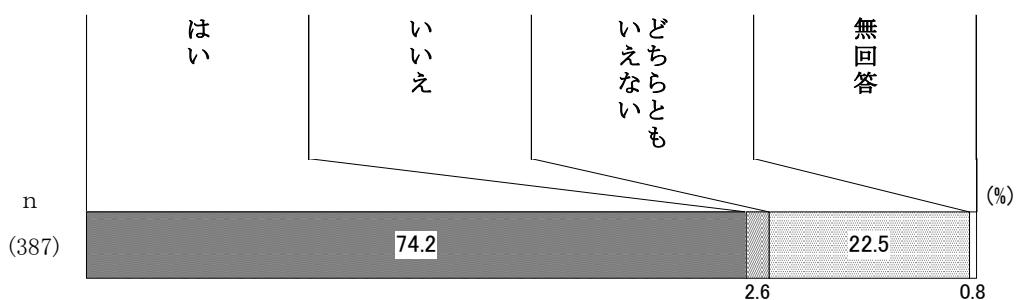


地域は、「藤久保」が52.7%で最も多く、次いで「北永井」が16.5%、「竹間沢」が11.6%、「上富」が10.9%、「みよし台」が7.0%となっている。

	基数(人)	構成比(%)
上富	42	10.9
北永井	64	16.5
藤久保	204	52.7
竹間沢	45	11.6
みよし台	27	7.0
(無回答)	5	1.3
合計	387	100.0

(3) 定住意向

問4 あなたは、これからも三芳町に住み続けたいと思っていますか。

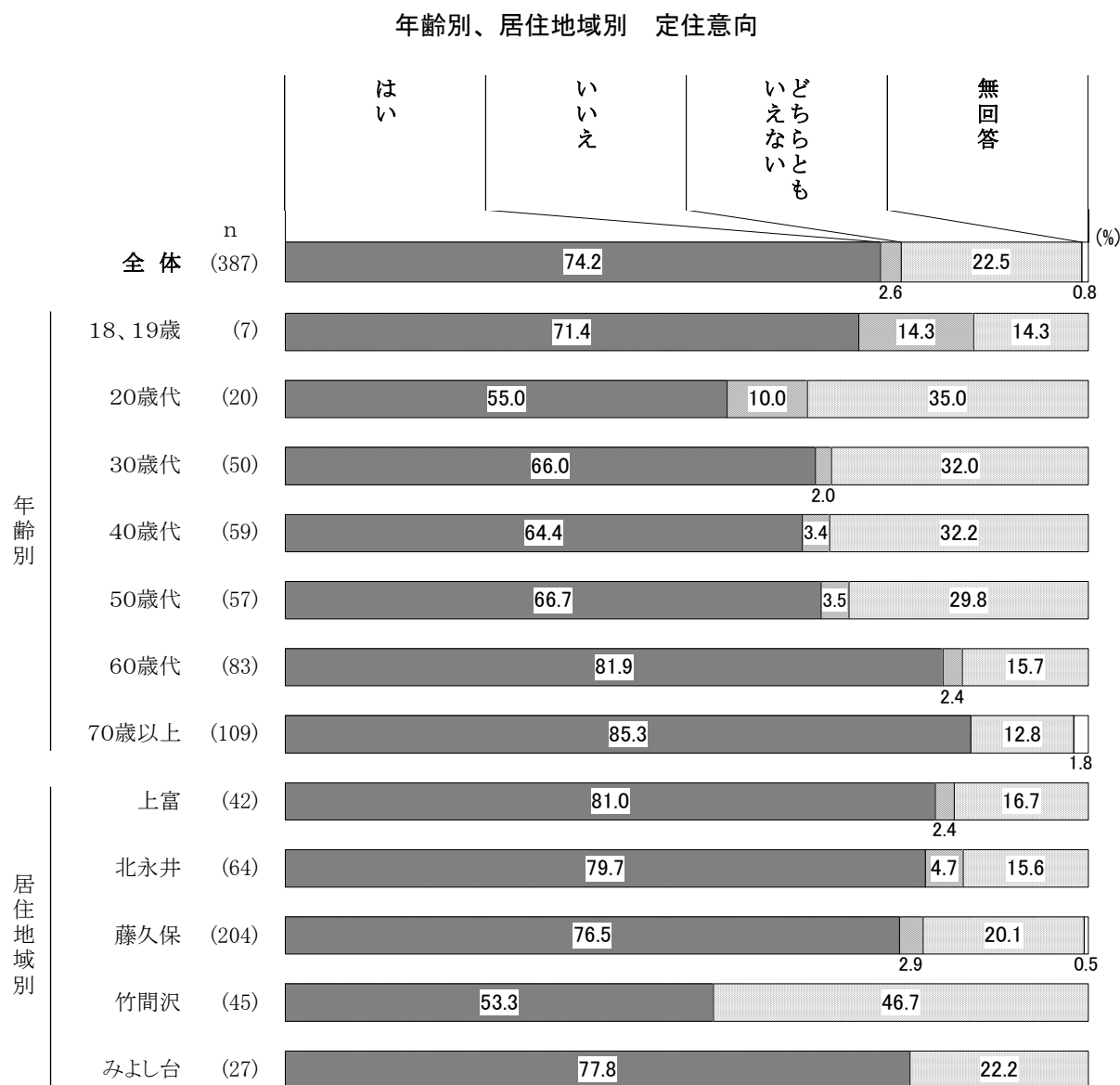


定住意向は、「はい」が74.2%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が22.5%、「いいえ」が2.6%となっている。

	基数(人)	構成比(%)
はい	287	74.2
いいえ	10	2.6
どちらともいえない	87	22.5
(無回答)	3	0.8
合計	387	100.0

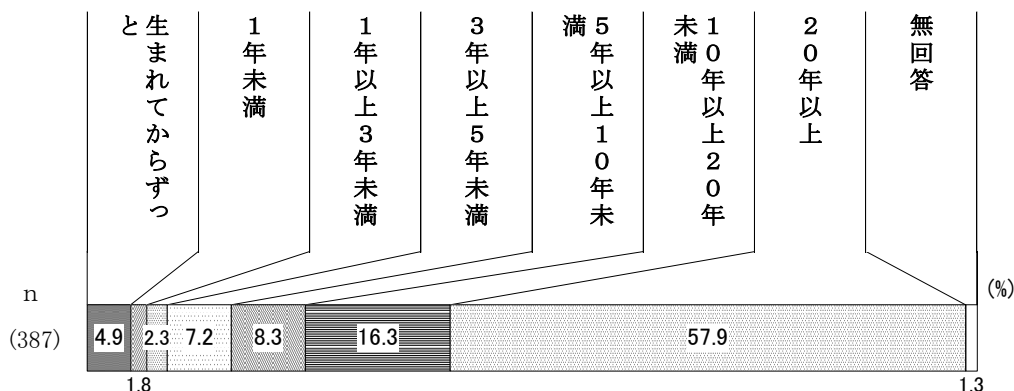
年齢別にみると、「はい」は60歳代と70歳以上で8割台と高く、20歳代で5割台と低くなっている。

居住地域別にみると、「はい」は竹間沢以外の地域で8割前後と高くなっている。竹間沢では「どちらともいえない」が4割台と高い。



(4) 居住年数

問5 あなたは、三芳町にお住まいになって何年になりますか。



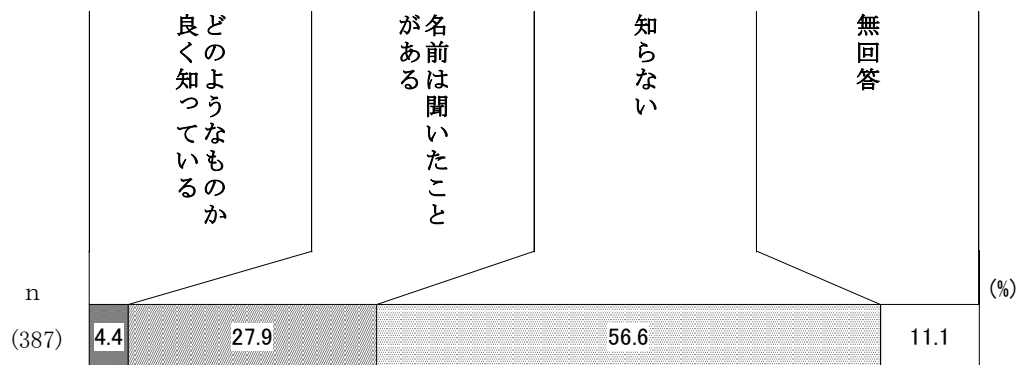
居住年数は、「20年以上」が57.9%で最も多く、次いで「10年以上20年未満」が16.3%、「5年以上10年未満」が8.3%、「3年以上5年未満」が7.2%となっている。

	基数(人)	構成比(%)
生まれてからずっと	19	4.9
1年未満	7	1.8
1年以上3年未満	9	2.3
3年以上5年未満	28	7.2
5年以上10年未満	32	8.3
10年以上20年未満	63	16.3
20年以上	224	57.9
(無回答)	5	1.3
合計	387	100.0

## 2. 自治基本条例の認知度について

### (1) 自治基本条例の認知度

問1 あなたは、自治基本条例を知っていますか。



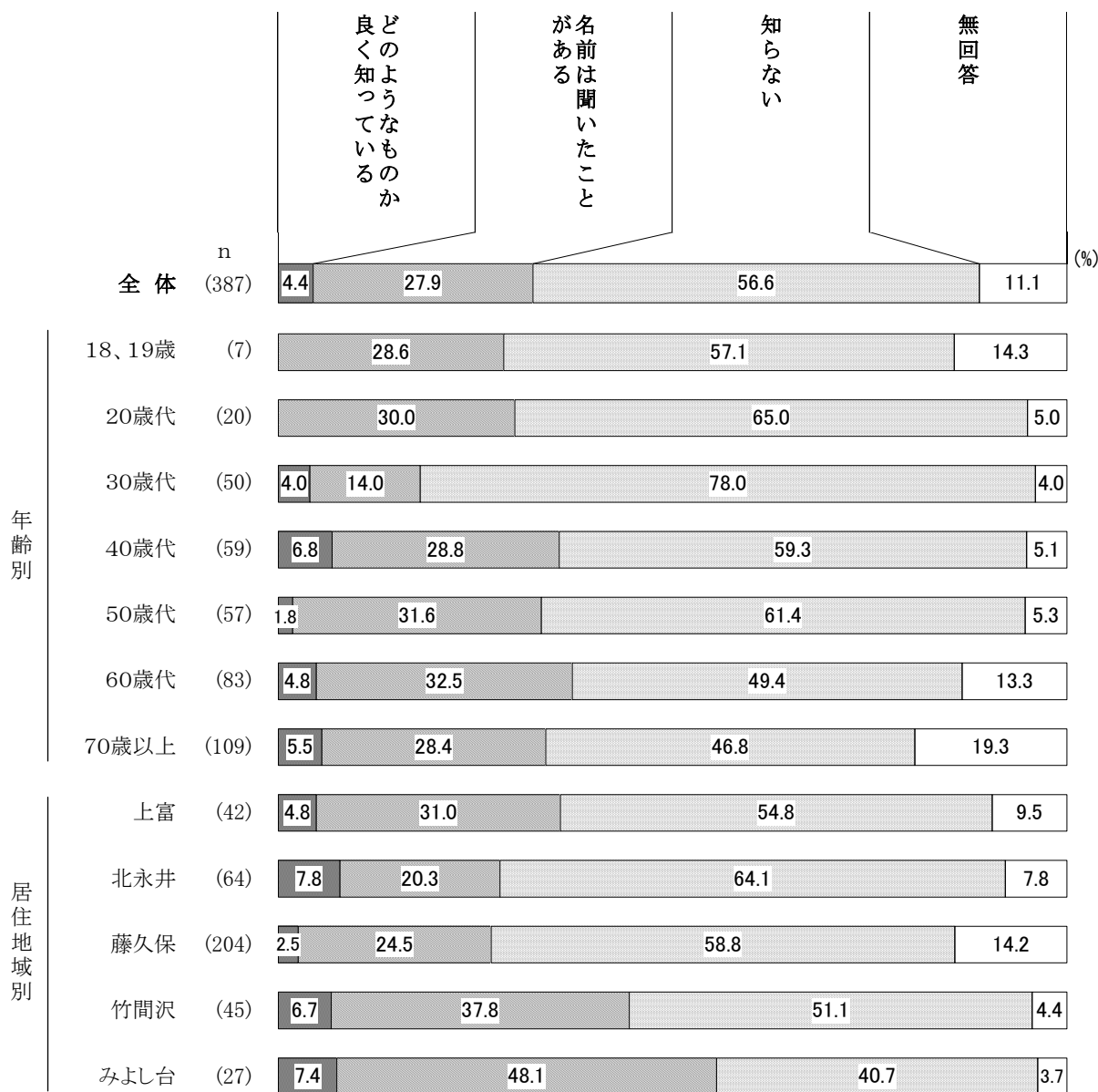
自治基本条例の認知度は、「知らない」が56.6%で最も多い。一方、「どのようなものか良く知っている」が4.4%、「名前は聞いたことがある」が27.9%となっており、認知度は32.3%となっている。

第2章 調査結果の詳細

年齢別にみると、認知度は30歳代以外の年齢で3割を超え、特に60歳代では37.3%と比較的高くなっている。一方、「知らない」は30歳代で7割台と高い。

居住地域別にみると、認知度はみよし台で5割台半ばと高く、竹間沢で4割台半ば、上富で3割台半ばとなっている。

年齢別、居住地域別 自治基本条例の認知度



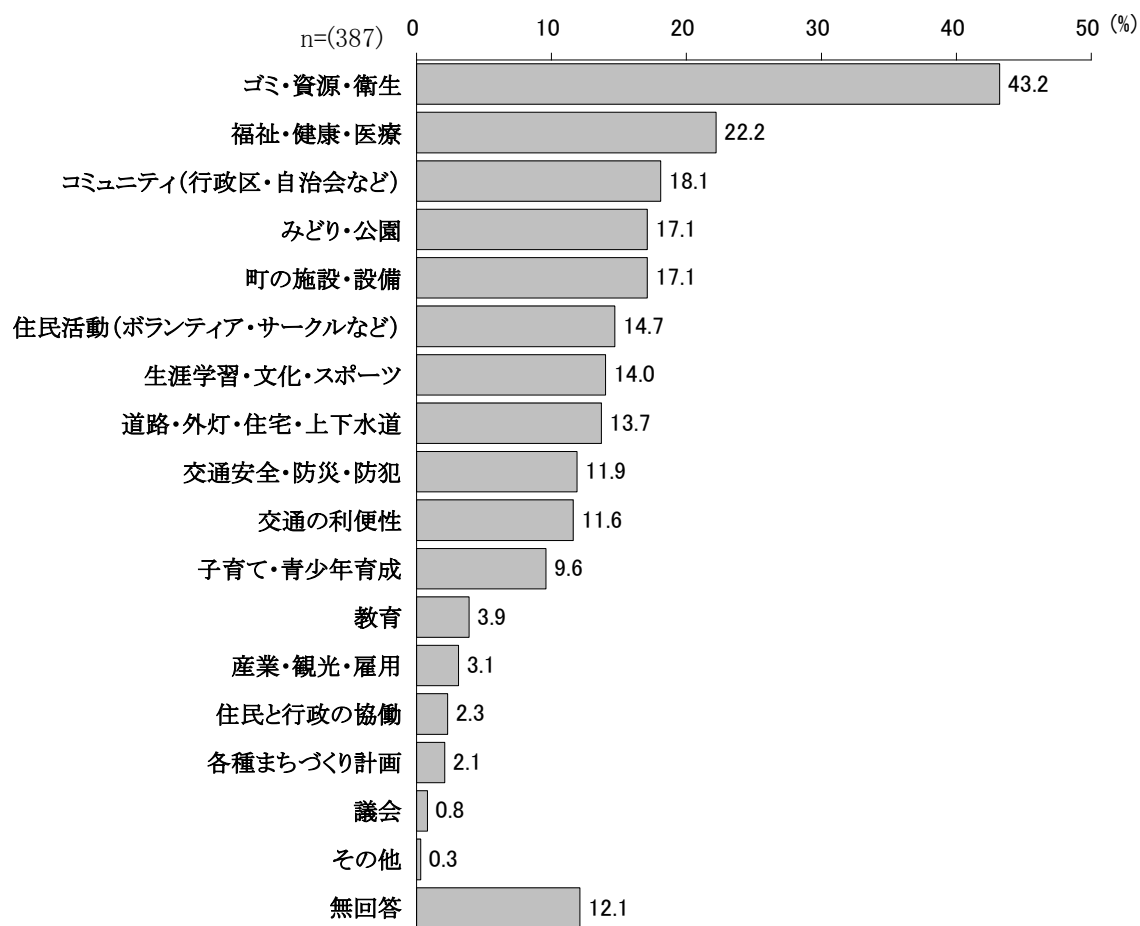


### 3. 現在の三芳町について

#### (1) 三芳町の生活で良い点、改善すべき点

問6 三芳町の生活で良いと思う点、改善すべき点を下の①～⑰の中からそれぞれ選んでください。(各3つ以内)

#### ■ 良い点



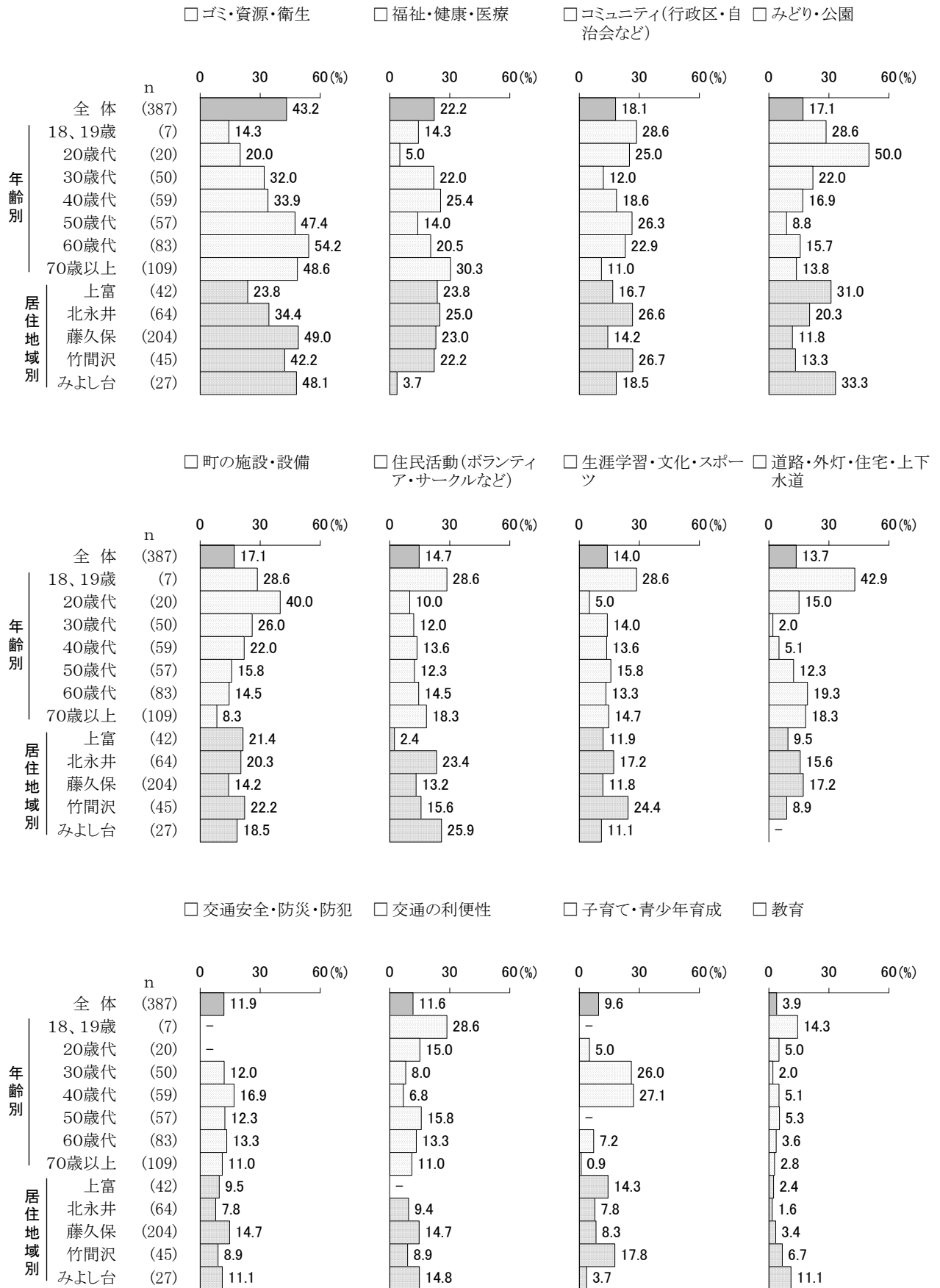
三芳町の生活で良い点は、「ゴミ・資源・衛生」が43.2%で最も多く、次いで「福祉・健康・医療」が22.2%、「コミュニティ(行政区・自治会など)」が18.1%、「みどり・公園」と「町の施設・設備」がともに17.1%となっている。

年齢別にみると、「ゴミ・資源・衛生」が50歳以上の年代、「みどり・公園」と「町の施設・設備」が20歳代で高い。また、「福祉・健康・医療」が70歳以上でやや高くなっている。

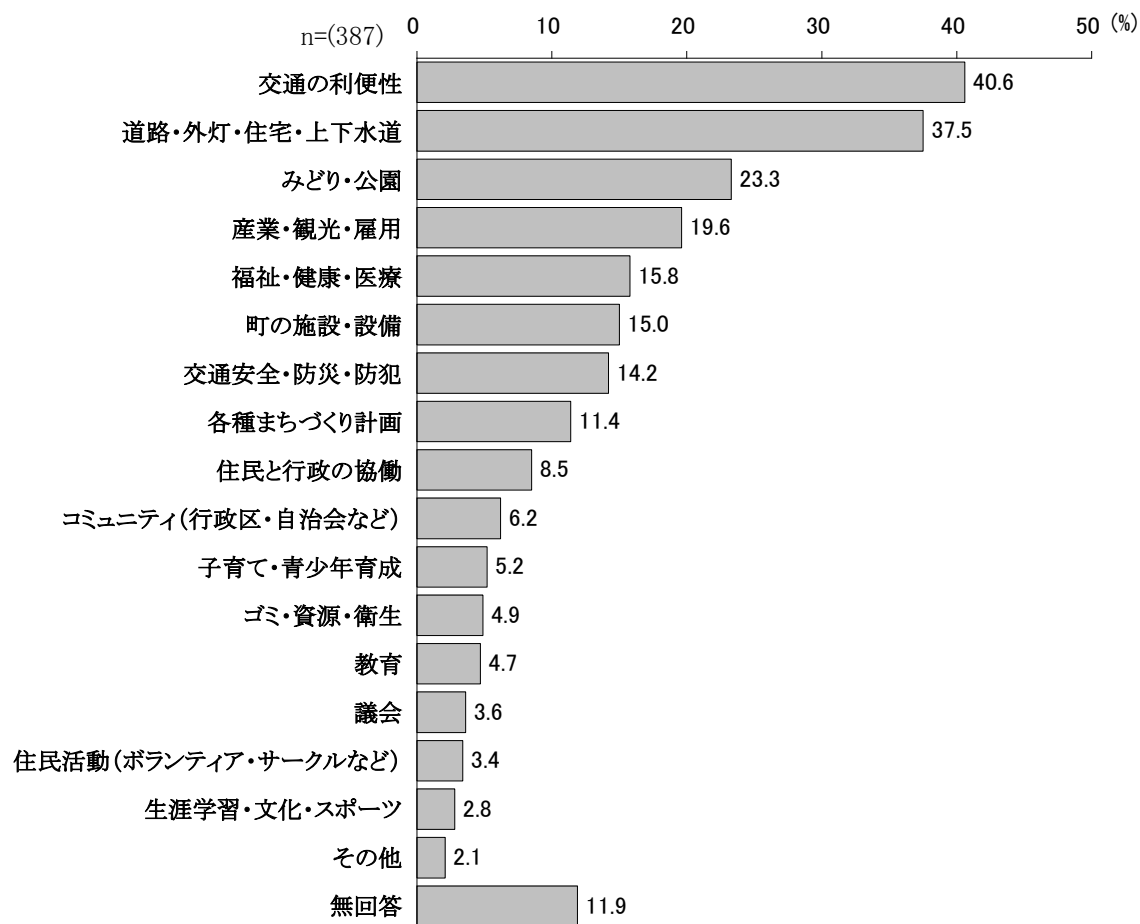
居住地域別にみると、藤久保・竹間沢・みよし台で「ゴミ・資源・衛生」、上富・みよし台で「みどり・公園」がそれぞれ高くなっている。

第2章 調査結果の詳細

年齢別、居住地域別 三芳町の生活で良い点（上位12項目）



### ■ 改善すべき点



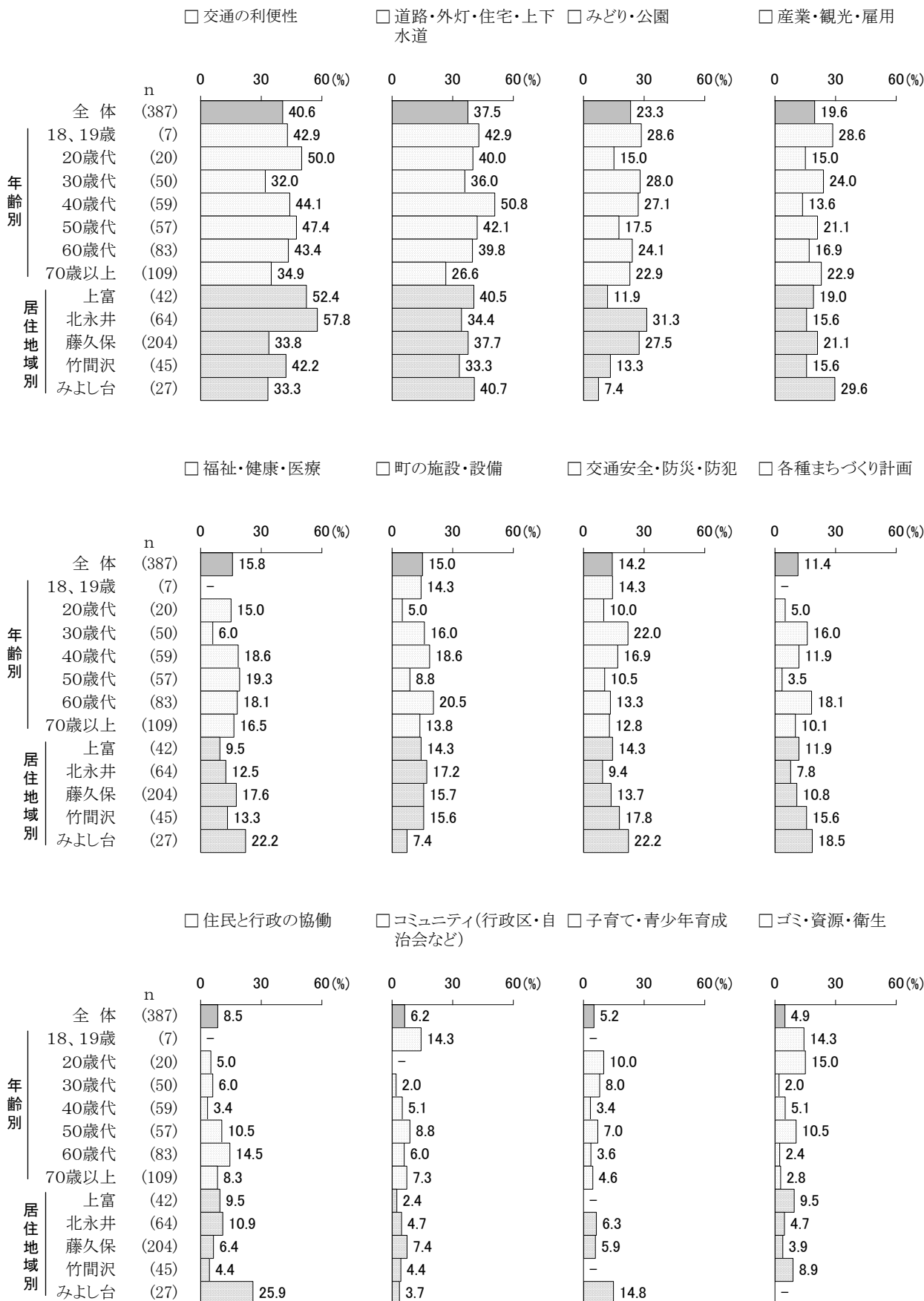
三芳町の生活で改善すべき点は、「交通の利便性」が40.6%、「道路・外灯・住宅・上下水道」が37.5%とともに多く、以下「みどり・公園」が23.3%、「産業・観光・雇用」が19.6%、「福祉・健康・医療」が15.8%、「町の施設・設備」が15.0%となっている。

年齢別にみると、「交通の利便性」が20歳代と50歳代、「道路・外灯・住宅・上下水道」が40歳代で高い。また、「みどり・公園」が30歳代と40歳代でやや高くなっている。

居住地域別にみると、上富・北永井で「交通の利便性」、上富・みよし台で「道路・外灯・住宅・上下水道」、みよし台で「産業・観光・雇用」「住民と行政の協働」がそれぞれ高くなっている。

第2章 調査結果の詳細

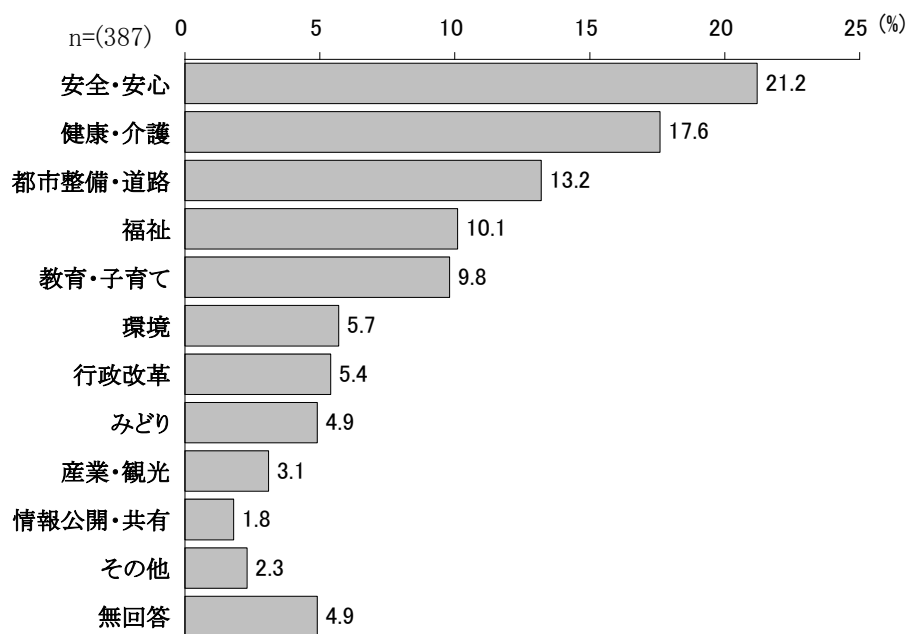
年齢別、居住地域別 三芳町の生活で改善すべき点（上位12項目）



## 4. これからの三芳町のまちづくりについて

## (1) 三芳町の行政に特に望むこと

問7 三芳町の行政に特に望むことは何ですか。(〇は1つ)

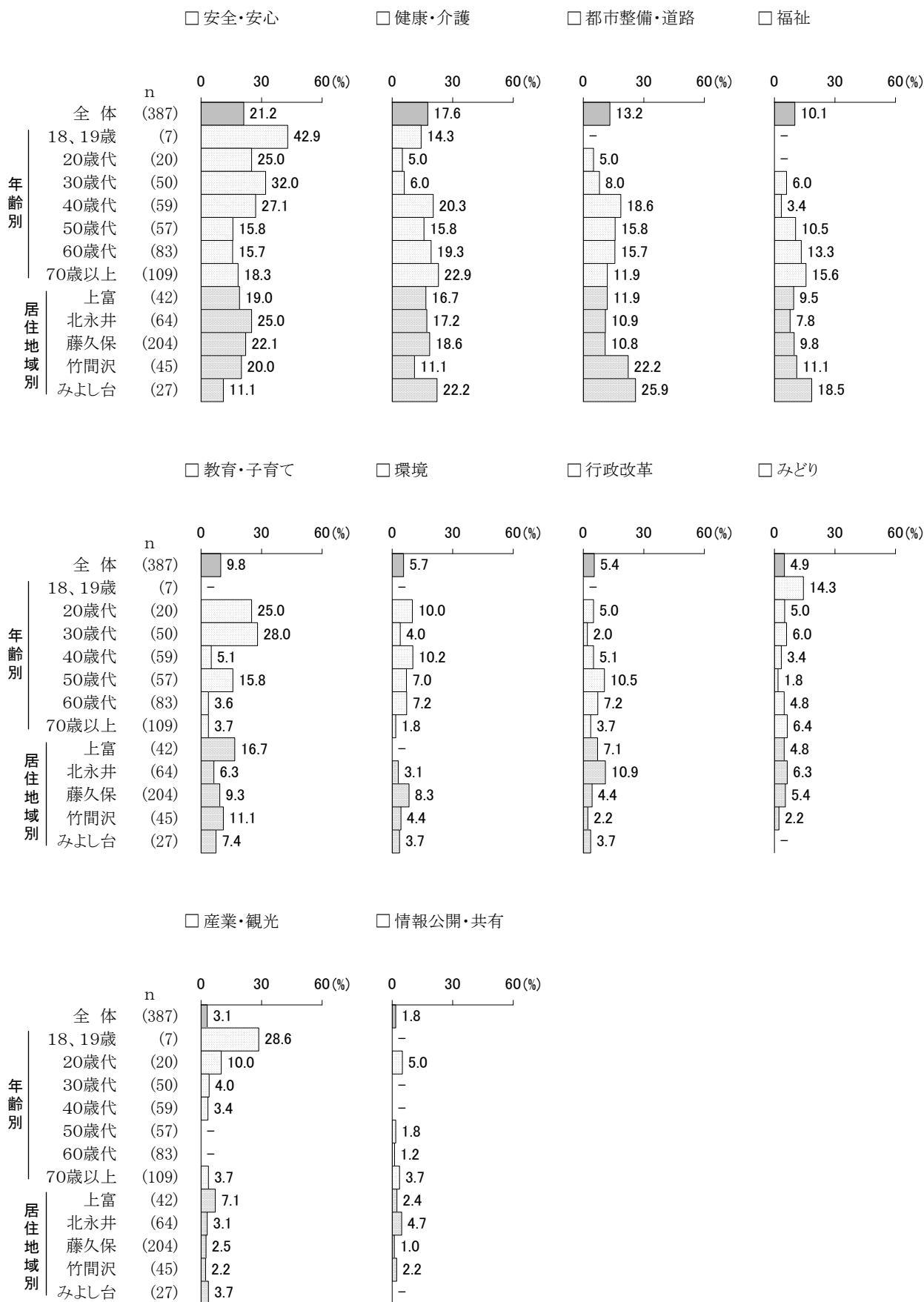


三芳町の行政に特に望むことは、「安全・安心」が21.2%で最も多く、次いで「健康・介護」が17.6%、「都市整備・道路」が13.2%、「福祉」が10.1%、「教育・子育て」が9.8%となっている。

年齢別にみると、「安全・安心」が40歳以下の年代、「教育・子育て」が20歳代・30歳代で高い。また、「健康・介護」が40歳以上の年代でやや高くなっている。

居住地域別にみると、北永井で「安全・安心」、みよし台で「健康・介護」、竹間沢・みよし台で「都市整備・道路」が高い。また、みよし台で「福祉」、上富で「教育・子育て」がやや高くなっている。

年齢別、居住地域別 三芳町の行政に特に望むこと

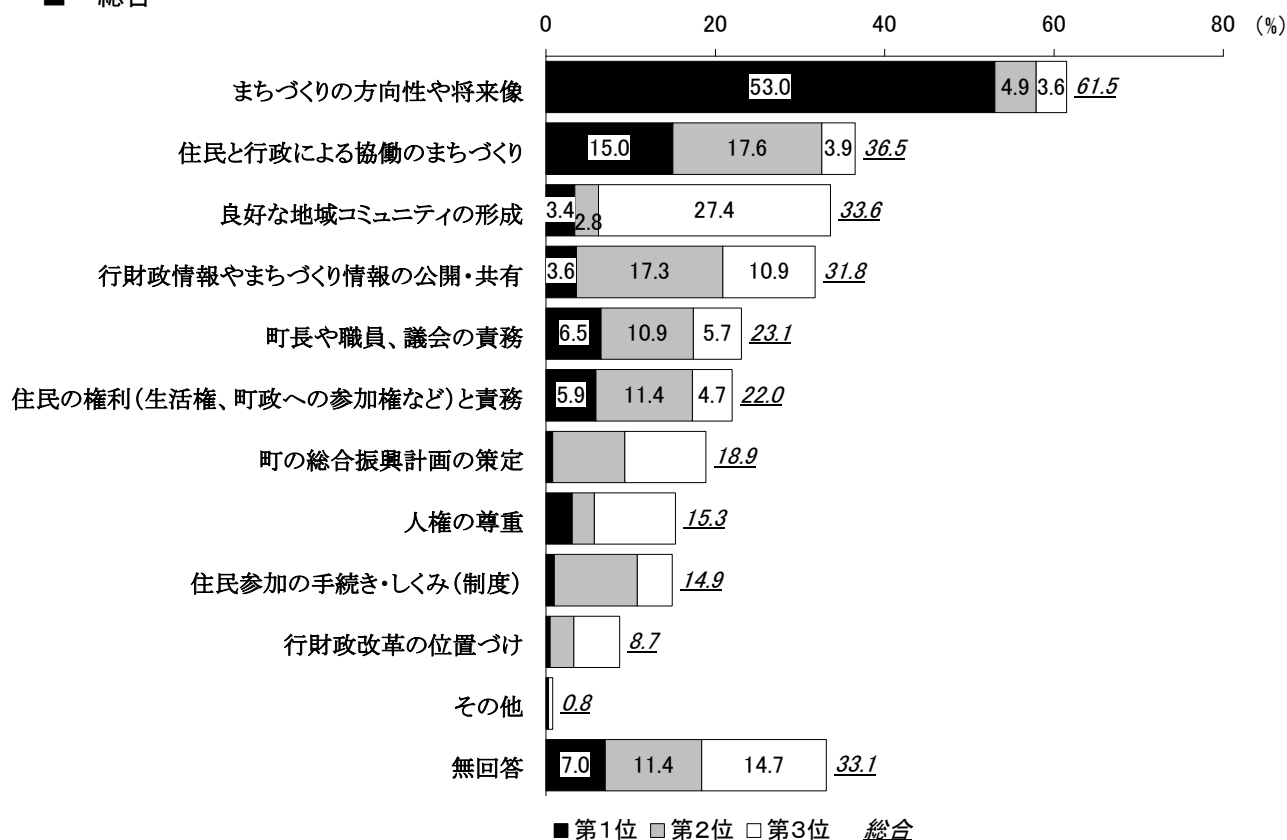


## 5. 自治基本条例について

## (1) 自治基本条例に定める項目で大切なこと

問8 自治基本条例に定めるのは、一般的に次のような項目が挙げられますがその中で大切だと思う順に3つご記入ください。

## ■ 総合



自治基本条例に定める項目で大切なことは、第1位～第3位までを総合すると「まちづくりの方向性や将来像」が61.5%で最も多い。次いで「住民と行政による協働のまちづくり」が36.5%、「良好な地域コミュニティの形成」が33.6%、「行財政情報やまちづくり情報の公開・共有」が31.8%となっている。

第2章 調査結果の詳細

年齢別にみると、総合および第1位ではすべての年齢で「まちづくりの方向性や将来像」が高くなっている。第2位では20歳代から40歳代で「住民と行政による協働のまちづくり」、50歳代以上では「行財政情報やまちづくり情報の公開・共有」が高い。第3位では「良好な地域コミュニティの形成」が高い年齢層が多くなっている。

居住地域別にみると、総合および第1位では「まちづくりの方向性や将来像」、第3位では「良好な地域コミュニティの形成」がすべての地域で高くなっている。

年齢別、居住地域別 自治基本条例に定める項目で大切なこと 総合および第1位～第3位

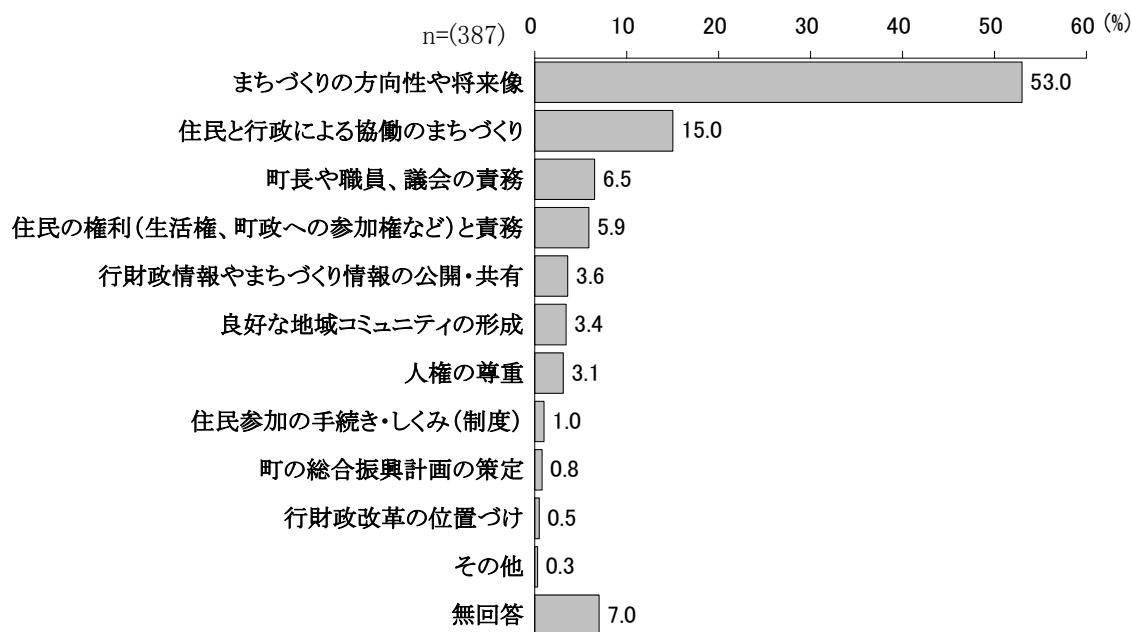
(%)

		n	総合	1位	2位	3位
全体		387	まちづくりの方向性や将来像 61.5	まちづくりの方向性や将来像 53.0	住民と行政による協働のまちづくり 17.6	良好な地域コミュニティの形成 27.4
年齢別	18、19歳	7	まちづくりの方向性や将来像／住民の権利と責務 他3項目 42.9	まちづくりの方向性や将来像 42.9	町の総合振興計画の策定 42.9	良好な地域コミュニティの形成 42.9
	20歳代	20	まちづくりの方向性や将来像 65.0	まちづくりの方向性や将来像 50.0	住民と行政による協働のまちづくり／住民の権利と責務 他1項目 20.0	町長や職員、議会の責務 25.0
	30歳代	50	まちづくりの方向性や将来像 72.0	まちづくりの方向性や将来像 58.0	住民と行政による協働のまちづくり 28.0	良好な地域コミュニティの形成 28.0
	40歳代	59	まちづくりの方向性や将来像 71.2	まちづくりの方向性や将来像 62.7	住民と行政による協働のまちづくり 20.3	良好な地域コミュニティの形成 35.6
	50歳代	57	まちづくりの方向性や将来像 56.2	まちづくりの方向性や将来像 42.1	行財政情報やまちづくり情報の公開・共有 28.1	良好な地域コミュニティの形成 17.5
	60歳代	83	まちづくりの方向性や将来像 61.4	まちづくりの方向性や将来像 55.4	行財政情報やまちづくり情報の公開・共有 20.5	良好な地域コミュニティの形成 27.7
	70歳以上	109	まちづくりの方向性や将来像 55.1	まちづくりの方向性や将来像 50.5	行財政情報やまちづくり情報の公開・共有 14.7	良好な地域コミュニティの形成 29.4
居住地域別	上富	42	まちづくりの方向性や将来像 47.7	まちづくりの方向性や将来像 40.5	住民と行政による協働のまちづくり／行財政情報やまちづくり情報の公開・共有 19.0	良好な地域コミュニティの形成 19.0
	北永井	64	まちづくりの方向性や将来像 57.8	まちづくりの方向性や将来像 45.3	行財政情報やまちづくり情報の公開・共有 23.4	良好な地域コミュニティの形成 23.4
	藤久保	204	まちづくりの方向性や将来像 61.8	まちづくりの方向性や将来像 52.9	住民と行政による協働のまちづくり 20.1	良好な地域コミュニティの形成 27.0
	竹間沢	45	まちづくりの方向性や将来像 68.8	まちづくりの方向性や将来像 60.0	住民と行政による協働のまちづくり／住民参加の手続き・しくみ 17.8	良好な地域コミュニティの形成 40.0
	みよし台	27	まちづくりの方向性や将来像 77.8	まちづくりの方向性や将来像 77.8	行財政情報やまちづくり情報の公開・共有 18.5	良好な地域コミュニティの形成 33.3

※18、19歳の総合の他3項目は、「町長や職員、議会の責務」、「町の総合振興計画の策定」、「良好な地域コミュニティの形成」。20歳代の第2位の他1項目は「行財政情報やまちづくり情報の公開・共有」



## ■ 第1位



自治基本条例に定める項目で大切なことの第1位は、「まちづくりの方向性や将来像」が53.0%で最も多く、次いで「住民と行政による協働のまちづくり」が15.0%となっている。

年齢別にみると、「まちづくりの方向性や将来像」が30歳代と40歳代で高い。「住民と行政による協働のまちづくり」が50歳代以上で高くなっている。

居住地域別にみると、みよし台と竹間沢で「まちづくりの方向性や将来像」が高い。北永井と竹間沢で「住民と行政による協働のまちづくり」、上富と竹間沢で「住民の権利（生活権、町政への参加権など）と責務」がやや高くなっている。

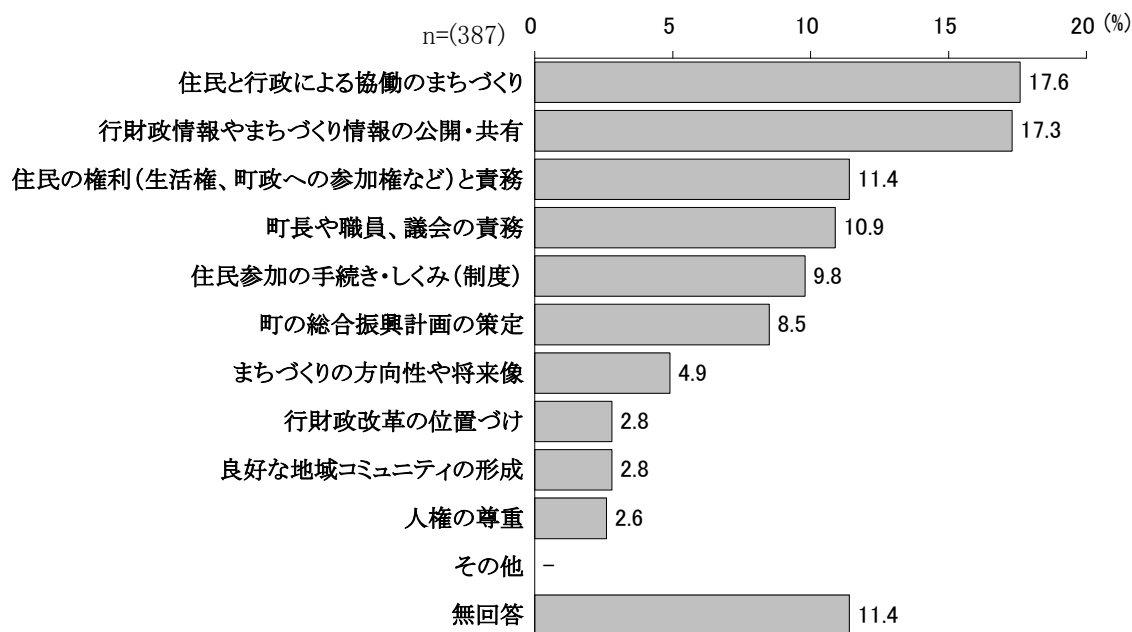
年齢別、居住地域別 自治基本条例に定める項目で大切なこと 第1位

(%)

	n	まちづくりの方向性や将来像	住民と行政による協働のまちづくり	町長や職員、議会の責務	住民の権利(生活権、町政への参加権など)と責務	行財政情報やまちづくり情報の公開・共有	良好な地域コミュニティの形成	
全体	387	53.0	15.0	6.5	5.9	3.6	3.4	
年齢別	18、19歳	7	42.9	14.3	28.6	14.3	-	-
	20歳代	20	50.0	5.0	5.0	10.0	5.0	10.0
	30歳代	50	58.0	14.0	8.0	6.0	2.0	6.0
	40歳代	59	62.7	5.1	5.1	6.8	6.8	1.7
	50歳代	57	42.1	19.3	8.8	10.5	5.3	5.3
	60歳代	83	55.4	18.1	7.2	3.6	4.8	1.2
	70歳以上	109	50.5	18.3	3.7	3.7	0.9	2.8
居住地域別	上富	42	40.5	9.5	9.5	11.9	7.1	4.8
	北永井	64	45.3	23.4	7.8	4.7	4.7	3.1
	藤久保	204	52.9	14.2	5.9	4.9	3.9	3.9
	竹間沢	45	60.0	17.8	6.7	11.1	-	2.2
	みよし台	27	77.8	7.4	3.7	-	-	-

	n	人権の尊重	住民参加の手続き・しくみ(制度)	町の総合振興計画の策定	行財政改革の位置づけ	その他	無回答
全体	387	3.1	1.0	0.8	0.5	0.3	7.0
年齢別	18、19歳	7	-	-	-	-	-
	20歳代	20	10.0	5.0	-	-	-
	30歳代	50	4.0	-	-	2.0	-
	40歳代	59	5.1	1.7	1.7	1.7	-
	50歳代	57	1.8	1.8	-	-	-
	60歳代	83	2.4	1.2	1.2	-	-
	70歳以上	109	1.8	-	0.9	-	0.9
居住地域別	上富	42	4.8	2.4	-	2.4	2.4
	北永井	64	6.3	-	-	-	-
	藤久保	204	2.5	1.5	1.5	0.5	-
	竹間沢	45	-	-	-	-	-
	みよし台	27	3.7	-	-	-	-

## ■ 第2位



第2位は、「住民と行政による協働のまちづくり」が17.6%、「行財政情報やまちづくり情報の公開・共有」が17.3%とともに多くなっている。

年齢別にみると、「住民と行政による協働のまちづくり」が20歳代から40歳代、「行財政情報やまちづくり情報の公開・共有」が50歳代でやや高くなっている。

居住地域別にみると、上富と藤久保で「住民と行政による協働のまちづくり」、上富と北永井、みよし台で「行財政情報やまちづくり情報の公開・共有」、北永井で「住民の権利（生活権、町政への参加権など）と責務」がやや高くなっている。

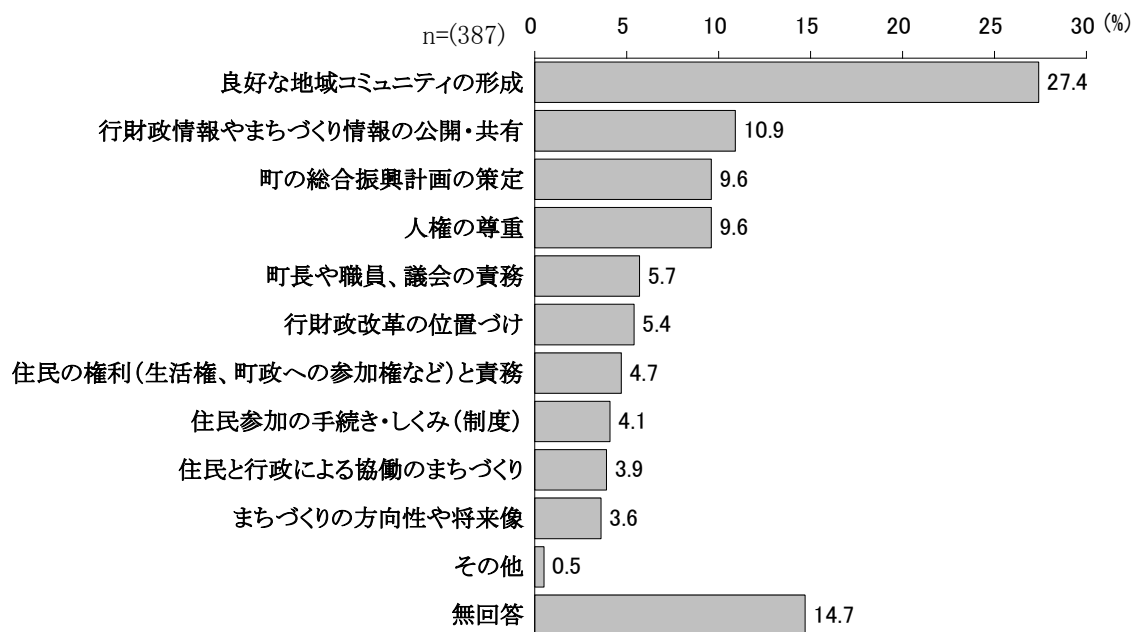
年齢別、居住地域別 自治基本条例に定める項目で大切なこと 第2位

(%)

		n	住民と行政による協働のまちづくり	行財政情報やまちづくり情報の公開・共有	住民の権利(生活権、町政への参加権など)と責務	町長や職員、議会の責務	住民参加の手続き・しくみ(制度)	町の総合振興計画の策定
全体		387	17.6	17.3	11.4	10.9	9.8	8.5
年齢別	18、19歳	7	14.3	-	14.3	14.3	-	42.9
	20歳代	20	20.0	20.0	20.0	10.0	5.0	5.0
	30歳代	50	28.0	14.0	10.0	12.0	10.0	6.0
	40歳代	59	20.3	11.9	11.9	5.1	18.6	10.2
	50歳代	57	15.8	28.1	15.8	8.8	7.0	7.0
	60歳代	83	18.1	20.5	7.2	16.9	9.6	9.6
	70歳以上	109	11.9	14.7	11.0	9.2	8.3	7.3
居住地域別	上富	42	19.0	19.0	4.8	14.3	11.9	4.8
	北永井	64	10.9	23.4	18.8	9.4	9.4	9.4
	藤久保	204	20.1	17.2	10.3	9.8	7.8	7.8
	竹間沢	45	17.8	8.9	11.1	15.6	17.8	13.3
	みよし台	27	14.8	18.5	14.8	7.4	7.4	11.1

		n	まちづくりの方向性や将来像	行財政改革の位置づけ	良好な地域コミュニティの形成	人権の尊重	その他	無回答
全体		387	4.9	2.8	2.8	2.6	-	11.4
年齢別	18、19歳	7	-	-	-	14.3	-	-
	20歳代	20	5.0	5.0	10.0	-	-	-
	30歳代	50	10.0	2.0	-	6.0	-	2.0
	40歳代	59	5.1	1.7	6.8	3.4	-	5.1
	50歳代	57	5.3	1.8	-	-	-	10.5
	60歳代	83	4.8	3.6	2.4	1.2	-	6.0
	70歳以上	109	2.8	3.7	2.8	2.8	-	25.7
居住地域別	上富	42	2.4	-	2.4	4.8	-	16.7
	北永井	64	4.7	6.3	1.6	-	-	6.3
	藤久保	204	6.4	2.5	2.9	2.9	-	12.3
	竹間沢	45	4.4	-	4.4	2.2	-	4.4
	みよし台	27	-	7.4	3.7	3.7	-	11.1

## ■ 第3位



第3位は、「良好な地域コミュニティの形成」が27.4%で最も多く、次いで「行財政情報やまちづくり情報の公開・共有」が10.9%となっている。

年齢別にみると、「良好な地域コミュニティの形成」が40歳代、「町長や職員、議会の責務」が20歳代で高くなっている。

居住地域別にみると、竹間沢とみよし台で「良好な地域コミュニティの形成」が高い。北永井で「行財政情報やまちづくり情報の公開・共有」がやや高くなっている。

年齢別、居住地域別 自治基本条例に定める項目で大切なこと 第3位

(%)

	n	良好な地域 コミュニティ の形成	行財政情報 やまちづくり 情報の公開・共有	町の総合振 興計画の策 定	人権の尊重	町長や職 員、議会の 責務	行財政改革 の位置づけ	
全体	387	27.4	10.9	9.6	9.6	5.7	5.4	
年齢別	18、19歳	7	42.9	-	-	14.3	-	-
	20歳代	20	15.0	10.0	10.0	5.0	25.0	5.0
	30歳代	50	28.0	14.0	18.0	4.0	2.0	6.0
	40歳代	59	35.6	11.9	5.1	6.8	5.1	-
	50歳代	57	17.5	14.0	7.0	12.3	5.3	10.5
	60歳代	83	27.7	10.8	10.8	13.3	8.4	8.4
	70歳以上	109	29.4	7.3	9.2	10.1	2.8	3.7
居住地域別	上富	42	19.0	2.4	11.9	4.8	4.8	9.5
	北永井	64	23.4	17.2	10.9	10.9	1.6	3.1
	藤久保	204	27.0	8.8	10.3	11.3	8.3	4.9
	竹間沢	45	40.0	15.6	4.4	6.7	4.4	8.9
	みよし台	27	33.3	14.8	7.4	7.4	-	3.7

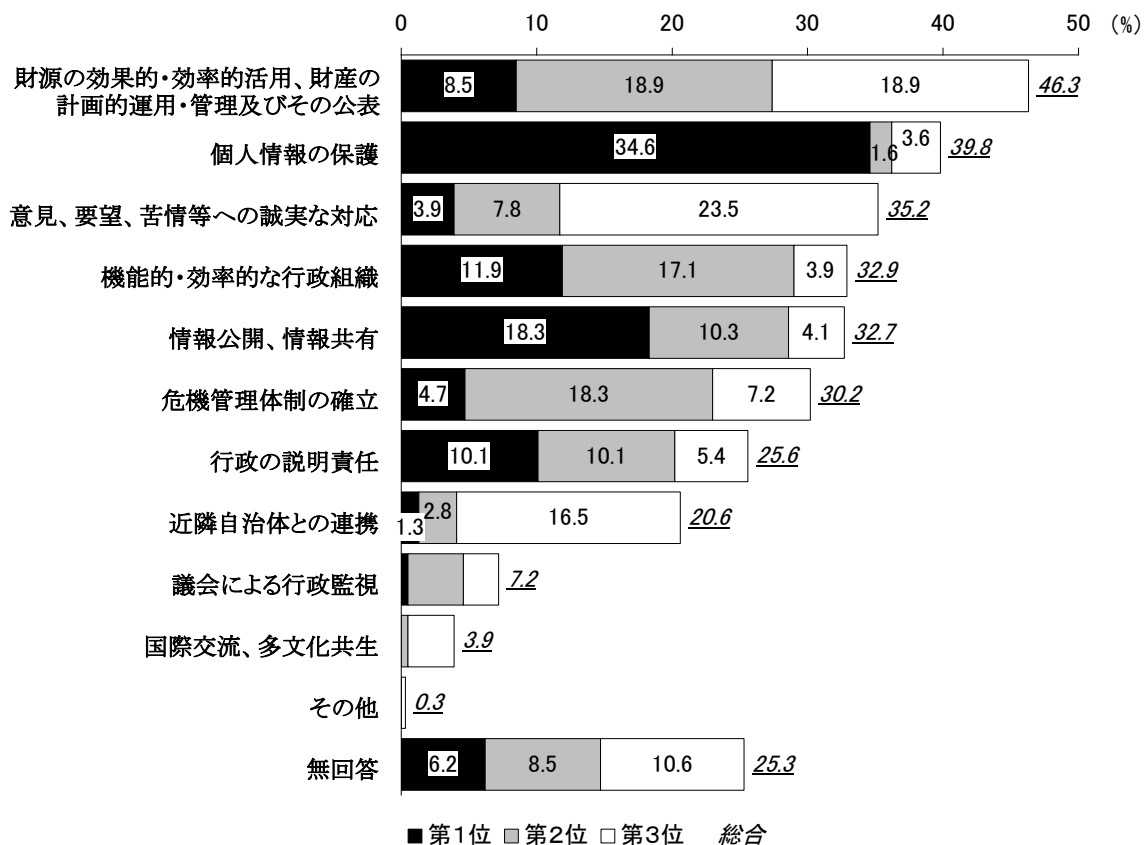
  

	n	住民の権利 (生活権、町 政への参加 権など)と責 務	住民参加の 手続き・しく み(制度)	住民と行政 による協働 のまちづくり	まちづくりの 方向性や将 来像	その他	無回答	
全体	387	4.7	4.1	3.9	3.6	0.5	14.7	
年齢別	18、19歳	7	14.3	28.6	-	-	-	-
	20歳代	20	5.0	5.0	10.0	10.0	-	-
	30歳代	50	4.0	8.0	4.0	4.0	-	8.0
	40歳代	59	6.8	5.1	8.5	3.4	-	11.9
	50歳代	57	8.8	1.8	1.8	8.8	-	12.3
	60歳代	83	2.4	2.4	4.8	1.2	1.2	8.4
	70歳以上	109	2.8	2.8	0.9	1.8	0.9	28.4
居住地域別	上富	42	4.8	11.9	4.8	4.8	2.4	19.0
	北永井	64	4.7	1.6	6.3	7.8	-	12.5
	藤久保	204	5.4	2.9	3.4	2.5	0.5	14.7
	竹間沢	45	2.2	2.2	2.2	4.4	-	8.9
	みよし台	27	3.7	11.1	3.7	-	-	14.8

(2) 町政運営の基本ルールとして大切なこと

問9 町政運営の基本ルールとして、大切だと思う順に3つご記入ください。

■ 総合



町政運営の基本ルールとして大切なことは、第1位～第3位までを総合すると「財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表」が46.3%で最も多い。次いで「個人情報の保護」が39.8%、「意見、要望、苦情等への誠実な対応」が35.2%、「機能的・効率的な行政組織」が32.9%、「情報公開、情報共有」が32.7%、「危機管理体制の確立」が30.2%となっている。

年齢別にみると、総合では「財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表」と「個人情報の保護」が高い年齢層が多くなっている。第1位ではすべての年齢で「個人情報の保護」が高い。第2位と第3位では「財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表」が高い年齢層が多くなっている。

居住地域別にみると、総合では「財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表」、第1位では「個人情報の保護」、第3位では「意見、要望、苦情等への誠実な対応」が高い地域が多くなっている。

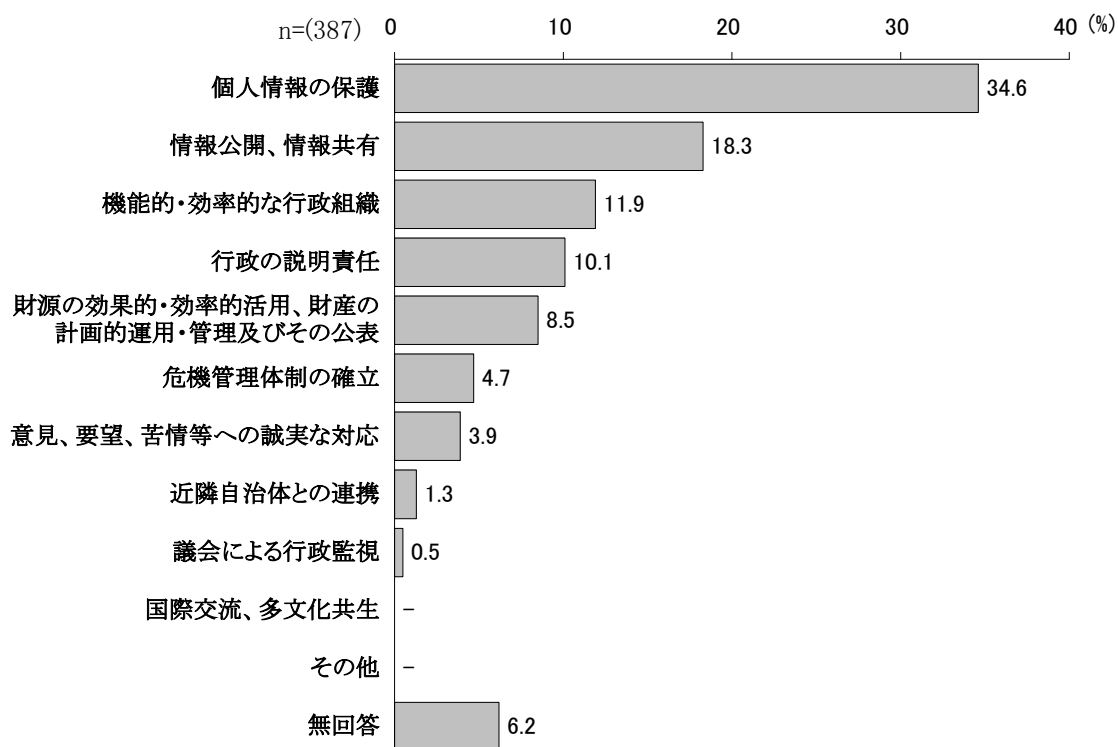
年齢別、居住地域別 町政運営の基本ルールとして大切なこと 総合および第1位～第3位

(%)

		n	総合	1位	2位	3位
全体		387	財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表 46.3	個人情報の保護 34.6	財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表 18.9	意見、要望、苦情等への誠実な対応 23.5
年齢別	18、19歳	7	個人情報の保護 85.7	個人情報の保護 71.4	情報公開、情報共有／意見、要望、苦情等への誠実な対応 28.6	財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表／意見、要望、苦情等への誠実な対応 28.6
	20歳代	20	財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表 65.0	個人情報の保護 35.0	財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表 25.0	財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表 25.0
	30歳代	50	個人情報の保護 54.0	個人情報の保護 38.0	財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表 20.0	意見、要望、苦情等への誠実な対応 30.0
	40歳代	59	財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表 61.0	個人情報の保護 42.4	危機管理体制の確立／財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表 22.0	財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表 23.7
	50歳代	57	財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表 59.6	個人情報の保護 33.3	機能的・効率的な行政組織／財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表 22.8	財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表 26.3
	60歳代	83	財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表 45.8	個人情報の保護 26.5	機能的・効率的な行政組織／危機管理体制の確立 18.1	財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表 22.9
	70歳以上	109	個人情報の保護 35.7	個人情報の保護 33.0	危機管理体制の確立 22.9	意見、要望、苦情等への誠実な対応 26.6
居住地域別	上富	42	財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表 54.7	個人情報の保護 33.3	財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表 23.8	意見、要望、苦情等への誠実な対応 23.8
	北永井	64	財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表 46.9	個人情報の保護 37.5	機能的・効率的な行政組織 20.3	意見、要望、苦情等への誠実な対応 26.6
	藤久保	204	財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表 46.0	個人情報の保護 33.8	危機管理体制の確立 19.6	意見、要望、苦情等への誠実な対応 24.5
	竹間沢	45	個人情報の保護 46.6	個人情報の保護 42.2	機能的・効率的な行政組織／危機管理体制の確立 20.0	近隣自治体との連携 22.2
	みよし台	27	財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表 51.8	情報公開、情報共有 25.9	財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表 25.9	財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表 22.2



## ■ 第1位



町政運営の基本ルールとして大切なことの第1位は、「個人情報の保護」が34.6%で最も多く、次いで「情報公開、情報共有」が18.3%、「機能的・効率的な行政組織」が11.9%、「行政の説明責任」が10.1%となっている。

年齢別にみると、「個人情報の保護」が30歳代と40歳代で高い。「情報公開、情報共有」が20歳代と30歳代でやや高くなっている。

居住地域別にみると、北永井と竹間沢で「個人情報の保護」、竹間沢とみよし台で「情報公開、情報共有」が高い。みよし台で「機能的・効率的な行政組織」と「行政の説明責任」がやや高くなっている。

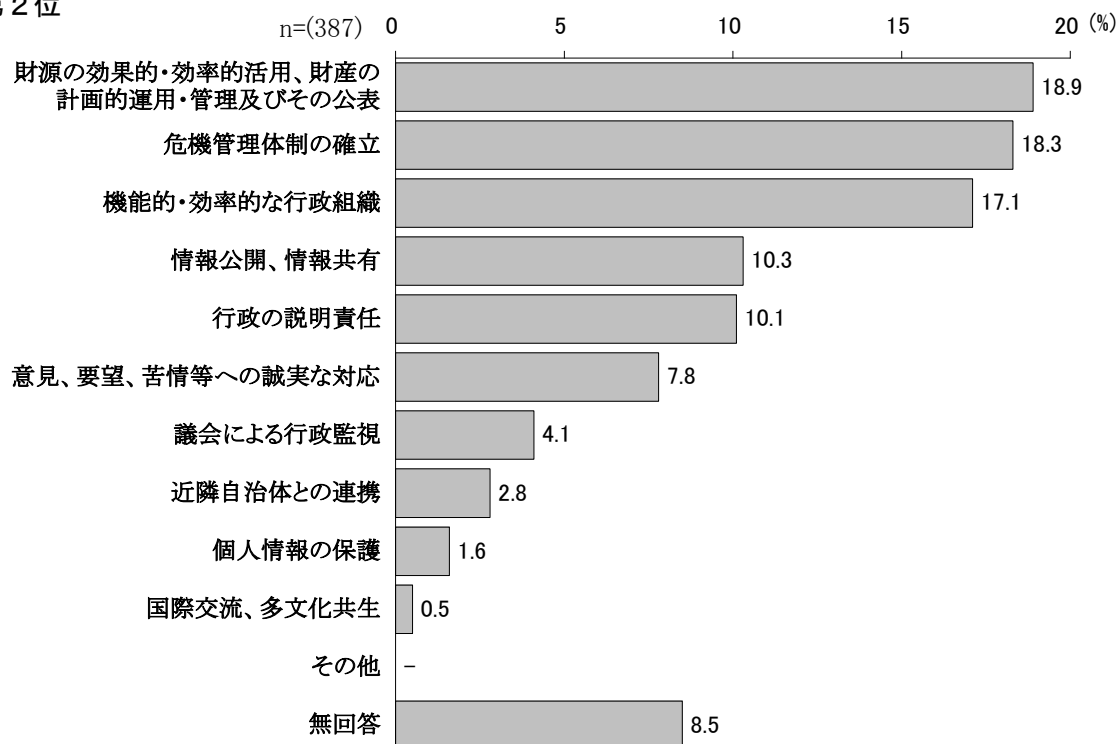
年齢別、居住地域別 町政運営の基本ルールとして大切なこと 第1位

(%)

	n	個人情報の保護	情報公開、情報共有	機能的・効率的な行政組織	行政の説明責任	財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表	危機管理体制の確立	
全体	387	34.6	18.3	11.9	10.1	8.5	4.7	
年齢別	18、19歳	7	71.4	-	-	14.3	-	14.3
	20歳代	20	35.0	25.0	10.0	5.0	15.0	-
	30歳代	50	38.0	24.0	12.0	6.0	14.0	-
	40歳代	59	42.4	11.9	10.2	1.7	15.3	8.5
	50歳代	57	33.3	19.3	14.0	7.0	10.5	7.0
	60歳代	83	26.5	20.5	14.5	15.7	6.0	6.0
	70歳以上	109	33.0	17.4	11.0	14.7	2.8	2.8
居住地域別	上富	42	33.3	11.9	14.3	9.5	19.0	4.8
	北永井	64	37.5	14.1	6.3	12.5	7.8	9.4
	藤久保	204	33.8	18.6	12.7	8.3	7.8	3.4
	竹間沢	45	42.2	24.4	11.1	8.9	6.7	2.2
	みよし台	27	22.2	25.9	18.5	18.5	3.7	7.4

	n	意見、要望、苦情等への誠実な対応	近隣自治体との連携	議会による行政監視	国際交流、多文化共生	その他	無回答	
全体	387	3.9	1.3	0.5	-	-	6.2	
年齢別	18、19歳	7	-	-	-	-	-	
	20歳代	20	10.0	-	-	-	-	
	30歳代	50	4.0	2.0	-	-	-	
	40歳代	59	3.4	3.4	1.7	-	-	1.7
	50歳代	57	5.3	-	1.8	-	-	1.8
	60歳代	83	3.6	1.2	-	-	-	6.0
	70歳以上	109	2.8	0.9	-	-	-	14.7
居住地域別	上富	42	2.4	-	-	-	-	4.8
	北永井	64	4.7	1.6	1.6	-	-	4.7
	藤久保	204	3.9	2.0	0.5	-	-	8.8
	竹間沢	45	4.4	-	-	-	-	-
	みよし台	27	3.7	-	-	-	-	-

## ■ 第2位



第2位は、「財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表」が18.9%、「危機管理体制の確立」が18.3%、「機能的・効率的な行政組織」が17.1%とそれぞれ多くなっている。

年齢別にみると、「財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表」が20歳代と30歳代、50歳代、「危機管理体制の確立」が40歳代と70歳以上、「機能的・効率的な行政組織」が50歳代でやや高くなっている。

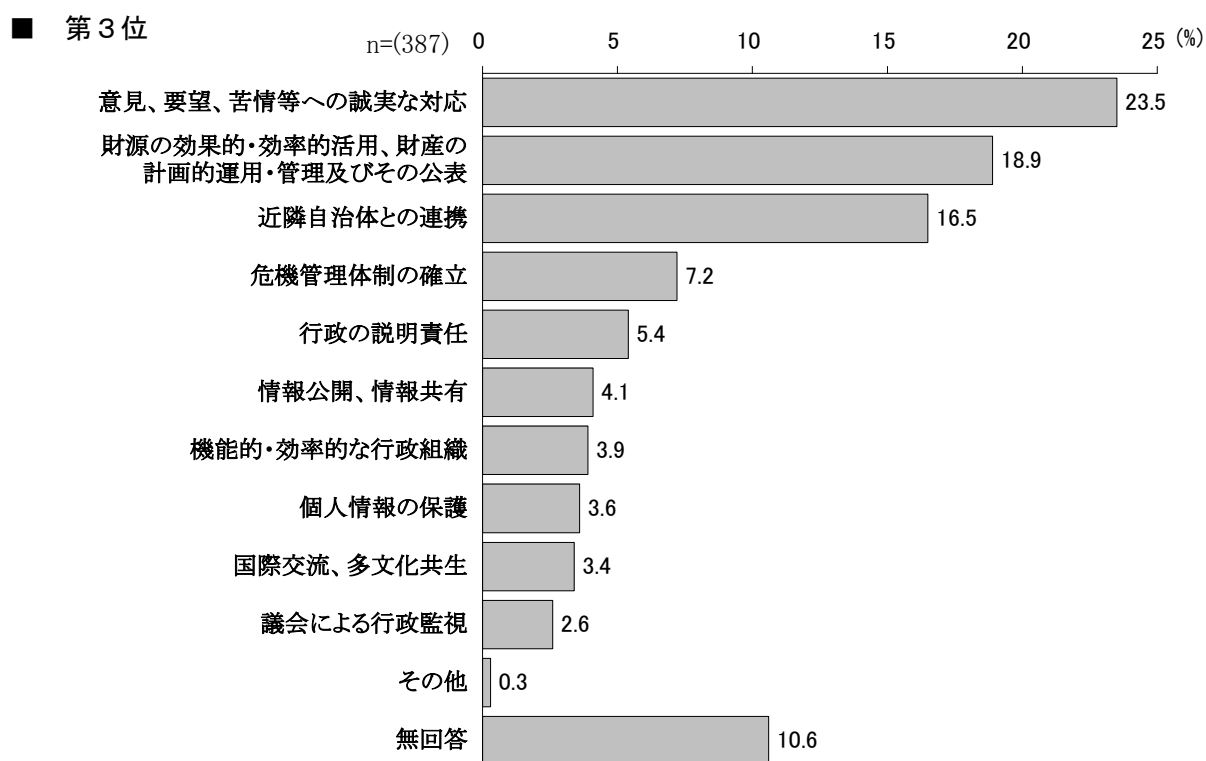
居住地域別にみると、上富とみよし台で「財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表」が高い。北永井と藤久保、竹間沢で「危機管理体制の確立」、北永井と竹間沢で「機能的・効率的な行政組織」がやや高くなっている。

年齢別、居住地域別 町政運営の基本ルールとして大切なこと 第2位

(%)

	n	財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表	危機管理体制の確立	機能的・効率的な行政組織	情報公開、情報共有	行政の説明責任	意見、要望、苦情等への誠実な対応	
全体	387	18.9	18.3	17.1	10.3	10.1	7.8	
年齢別	18、19歳	7	14.3	-	-	28.6	14.3	28.6
	20歳代	20	25.0	5.0	20.0	20.0	15.0	5.0
	30歳代	50	20.0	18.0	16.0	6.0	16.0	16.0
	40歳代	59	22.0	22.0	13.6	15.3	10.2	8.5
	50歳代	57	22.8	14.0	22.8	12.3	10.5	3.5
	60歳代	83	16.9	18.1	18.1	8.4	10.8	8.4
	70歳以上	109	15.6	22.9	16.5	7.3	4.6	4.6
居住地域別	上富	42	23.8	14.3	11.9	9.5	14.3	2.4
	北永井	64	14.1	18.8	20.3	14.1	12.5	3.1
	藤久保	204	18.6	19.6	16.2	10.3	8.3	9.8
	竹間沢	45	15.6	20.0	20.0	8.9	8.9	11.1
	みよし台	27	25.9	14.8	18.5	7.4	11.1	7.4

	n	議会による行政監視	近隣自治体との連携	個人情報の保護	国際交流、多文化共生	その他	無回答	
全体	387	4.1	2.8	1.6	0.5	-	8.5	
年齢別	18、19歳	7	-	14.3	-	-	-	
	20歳代	20	-	5.0	-	5.0	-	
	30歳代	50	-	2.0	4.0	-	-	2.0
	40歳代	59	-	3.4	1.7	-	-	3.4
	50歳代	57	3.5	1.8	1.8	1.8	-	5.3
	60歳代	83	6.0	4.8	-	-	-	8.4
	70歳以上	109	8.3	0.9	1.8	-	-	17.4
居住地域別	上富	42	4.8	2.4	2.4	-	-	14.3
	北永井	64	6.3	3.1	1.6	-	-	6.3
	藤久保	204	3.4	2.0	1.0	0.5	-	10.3
	竹間沢	45	2.2	6.7	2.2	2.2	-	2.2
	みよし台	27	7.4	3.7	3.7	-	-	-



第3位は、「意見、要望、苦情等への誠実な対応」が23.5%で最も多く、次いで「財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表」が18.9%、「近隣自治体との連携」が16.5%となっている。

年齢別にみると、「意見、要望、苦情等への誠実な対応」が30歳代、70歳以上、「財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表」が20歳代と50歳代、「近隣自治体との連携」が50歳代と70歳以上でやや高くなっている。

居住地域別にみると、北永井で「意見、要望、苦情等への誠実な対応」と「財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表」がやや高い。竹間沢で「近隣自治体との連携」、みよし台で「危機管理体制の確立」がやや高くなっている。

年齢別、居住地域別 町政運営の基本ルールとして大切なこと 第3位

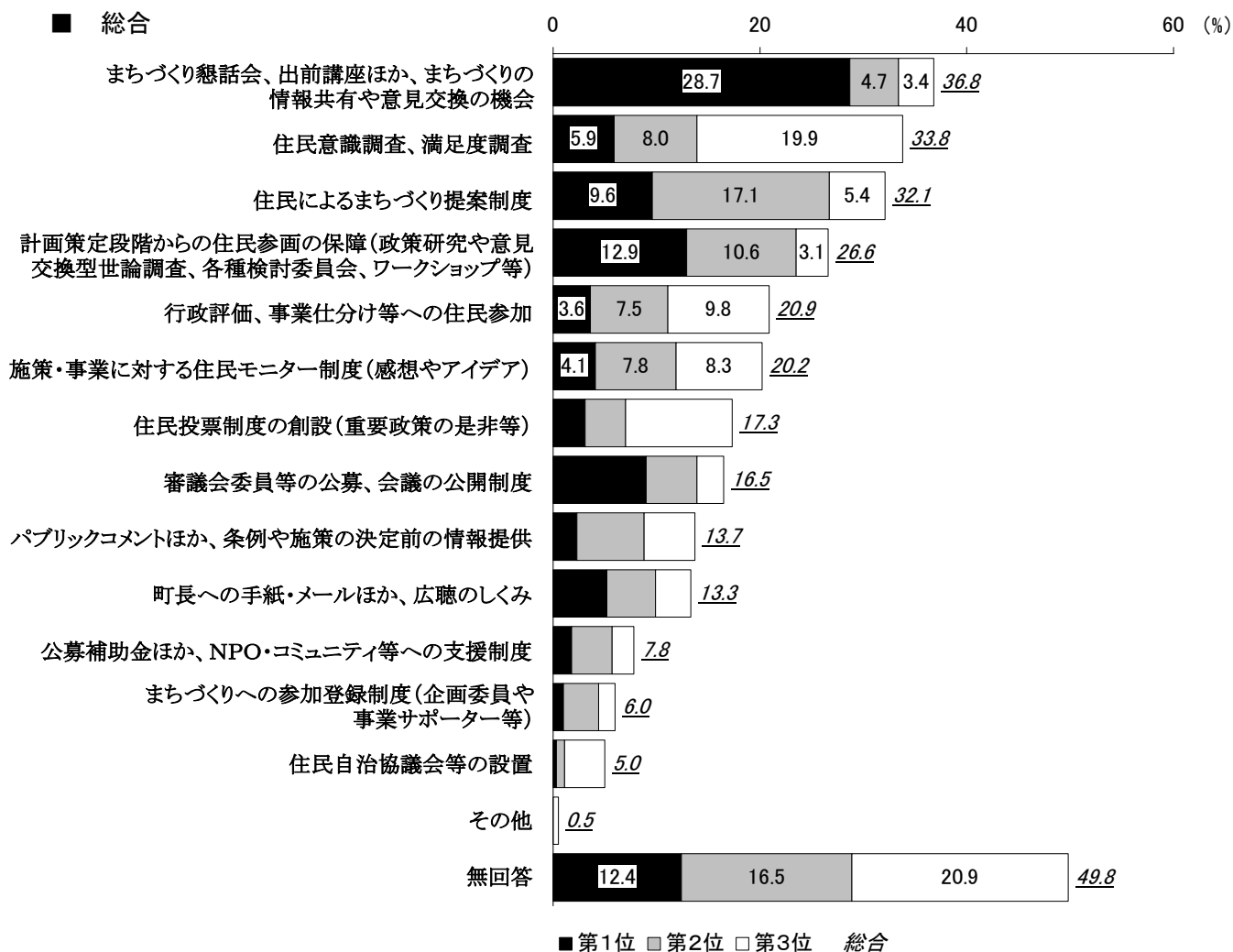
(%)

	n	意見、要望、苦情等への誠実な対応	財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表	近隣自治体との連携	危機管理体制の確立	行政の説明責任	情報公開、情報共有
全体	387	23.5	18.9	16.5	7.2	5.4	4.1
年齢別	18、19歳	7	28.6	28.6	-	-	-
	20歳代	20	15.0	25.0	5.0	-	10.0
	30歳代	50	30.0	10.0	12.0	6.0	6.0
	40歳代	59	20.3	23.7	6.8	8.5	6.8
	50歳代	57	19.3	26.3	22.8	7.0	7.0
	60歳代	83	21.7	22.9	18.1	8.4	7.2
	70歳以上	109	26.6	11.9	22.9	8.3	1.8
居住地域別	上富	42	23.8	11.9	16.7	2.4	2.4
	北永井	64	26.6	25.0	14.1	4.7	3.1
	藤久保	204	24.5	19.6	16.2	7.4	6.9
	竹間沢	45	17.8	13.3	22.2	8.9	6.7
	みよし台	27	14.8	22.2	11.1	18.5	3.7

	n	機能的・効率的な行政組織	個人情報の保護	国際交流、多文化共生	議会による行政監視	その他	無回答
全体	387	3.9	3.6	3.4	2.6	0.3	10.6
年齢別	18、19歳	7	14.3	14.3	14.3	-	-
	20歳代	20	10.0	15.0	-	15.0	-
	30歳代	50	8.0	12.0	4.0	-	-
	40歳代	59	5.1	1.7	6.8	3.4	-
	50歳代	57	3.5	1.8	-	1.8	-
	60歳代	83	2.4	1.2	4.8	2.4	-
	70歳以上	109	0.9	0.9	1.8	1.8	0.9
居住地域別	上富	42	7.1	7.1	2.4	4.8	-
	北永井	64	6.3	6.3	1.6	3.1	-
	藤久保	204	2.5	2.9	2.9	2.0	-
	竹間沢	45	4.4	2.2	6.7	2.2	-
	みよし台	27	3.7	-	7.4	3.7	3.7

(3) 行政活動への参加や協働のまちづくりを進めるためのしくみとして大切なこと

問10 行政活動への参加や協働のまちづくりを進めるためのしくみを、大切だと思う順に3つご記入ください。



行政活動への参加や協働のまちづくりを進めるためのしくみとして大切なことは、第1位～第3位までを総合すると「まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会」が36.8%で最も多い。次いで「住民意識調査、満足度調査」が33.8%、「住民によるまちづくり提案制度」が32.1%、「計画策定段階からの住民参画の保障（政策研究や意見交換型世論調査、各種検討委員会、ワークショップ等）」が26.6%となっている。

年齢別にみると、総合では「まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会」が20歳代と60歳代、70歳以上、「住民意識調査、満足度調査」が30歳代と50歳代で高くなっている。

居住地域別にみると、総合では「住民意識調査、満足度調査」が上富と北永井、「まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会」が藤久保、竹間沢、みよし台で高くなっている。

第2章 調査結果の詳細

年齢別、居住地域別 行政活動への参加や協働のまちづくりを進めるためのしくみとして大切なこと  
総合および第1位～第3位

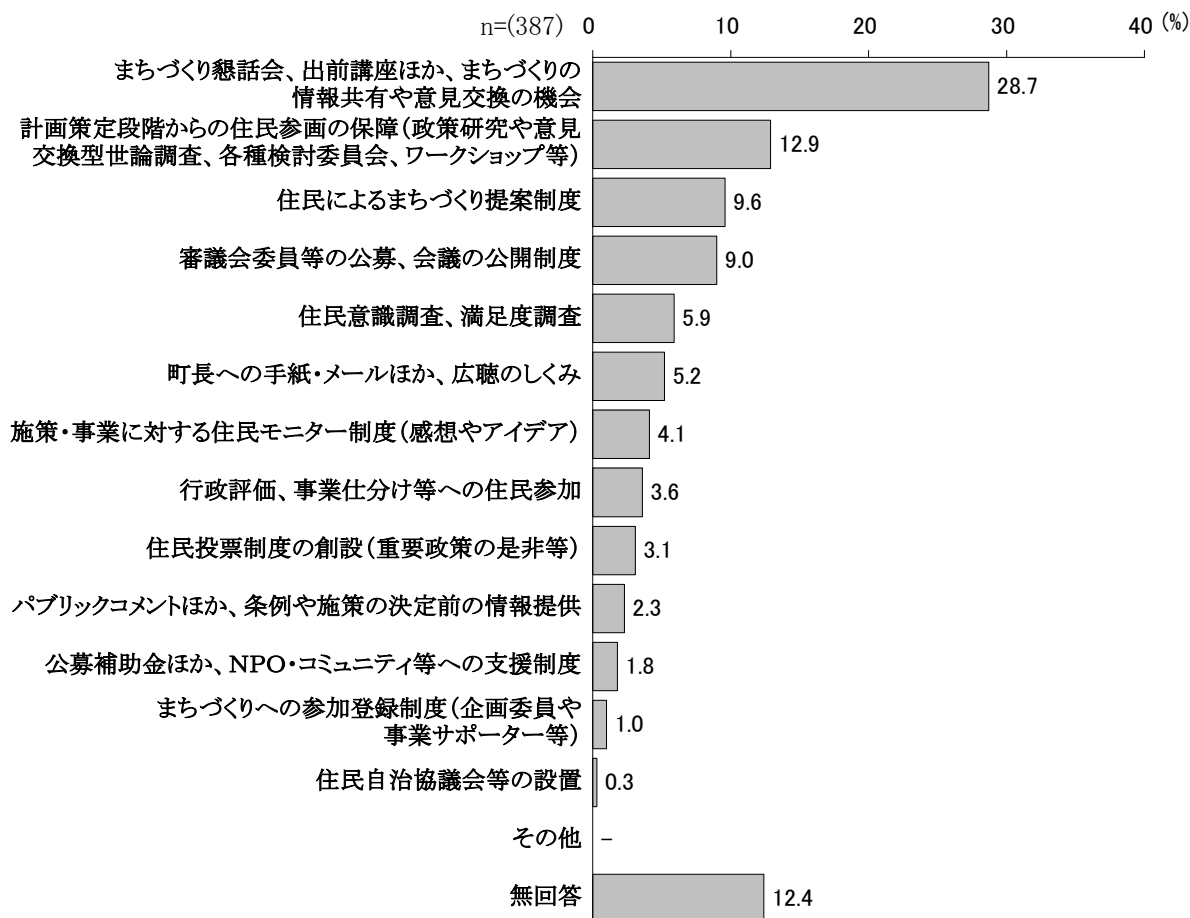
(%)

		n	総合	1位	2位	3位
全体		387	まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会 36.8	まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会 28.7	住民によるまちづくり提案制度 17.1	住民意識調査、満足度調査 19.9
年齢別	18、19歳	7	計画策定段階からの住民参画の保障/住民意識調査、満足度調査 57.2	計画策定段階からの住民参画の保障/住民によるまちづくり提案制度 42.9	住民投票制度の創設 28.6	住民意識調査、満足度調査 42.9
	20歳代	20	まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会 45.0	まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会 30.0	パブリックコメントほか、条例や施策の決定前の情報提供 15.0	住民意識調査、満足度調査 20.0
	30歳代	50	住民意識調査、満足度調査 40.0	計画策定段階からの住民参画の保障 16.0	まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会/住民によるまちづくり提案制度 他3項目 12.0	住民意識調査、満足度調査 16.0
	40歳代	59	計画策定段階からの住民参画の保障 40.6	まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会 23.7	計画策定段階からの住民参画の保障 16.9	住民意識調査、満足度調査 16.9
	50歳代	57	住民意識調査、満足度調査 33.3	まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会 26.3	住民によるまちづくり提案制度 17.5	住民意識調査、満足度調査 17.5
	60歳代	83	まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会 42.1	まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会 34.9	住民によるまちづくり提案制度 21.7	住民意識調査、満足度調査 21.7
	70歳以上	109	まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会 40.4	まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会 37.6	住民によるまちづくり提案制度 21.1	住民意識調査、満足度調査 22.0
居住地域別	上富	42	まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会 21.4	住民によるまちづくり提案制度/住民投票制度の創設 9.5	住民意識調査、満足度調査 21.4	住民意識調査、満足度調査 28.5
	北永井	64	まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会 31.3	住民意識調査、満足度調査 17.2	住民意識調査、満足度調査 15.6	住民意識調査、満足度調査 35.9
	藤久保	204	まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会 29.4	住民によるまちづくり提案制度 18.1	住民意識調査、満足度調査 20.6	まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会 38.2
	竹間沢	45	まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会 26.7	住民によるまちづくり提案制度 26.7	住民意識調査、満足度調査 17.8	まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会 44.5
	みよし台	27	まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会 37.0	住民によるまちづくり提案制度 18.5	住民意識調査、満足度調査 25.9	まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会 40.7

※30歳の第2位の他3項目は、「施策・事業に対する住民モニター制度（感想やアイデア）」、「行政評価、事業仕分け等への住民参加」、「住民意識調査、満足度調査」。



## ■ 第1位



行政活動への参加や協働のまちづくりを進めるためのしくみとして大切なことの第1位は、「まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会」が28.7%で最も多く、次いで「計画策定段階からの住民参画の保障（政策研究や意見交換型世論調査、各種検討委員会、ワークショップ等）」が12.9%、「住民によるまちづくり提案制度」が9.6%、「審議会委員等の公募、会議の公開制度」が9.0%となっている。

年齢別にみると、「まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会」が60歳代と70歳以上、「計画策定段階からの住民参画の保障（政策研究や意見交換型世論調査、各種検討委員会、ワークショップ等）」が40歳代でやや高くなっている。

居住地域別にみると、北永井と藤久保、みよし台で「まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会」がやや高い。竹間沢では「計画策定段階からの住民参画の保障（政策研究や意見交換型世論調査、各種検討委員会、ワークショップ等）」と「住民によるまちづくり提案制度」がやや高くなっている。

年齢別、居住地域別 行政活動への参加や協働のまちづくりを進めるためのしくみとして大切なこと

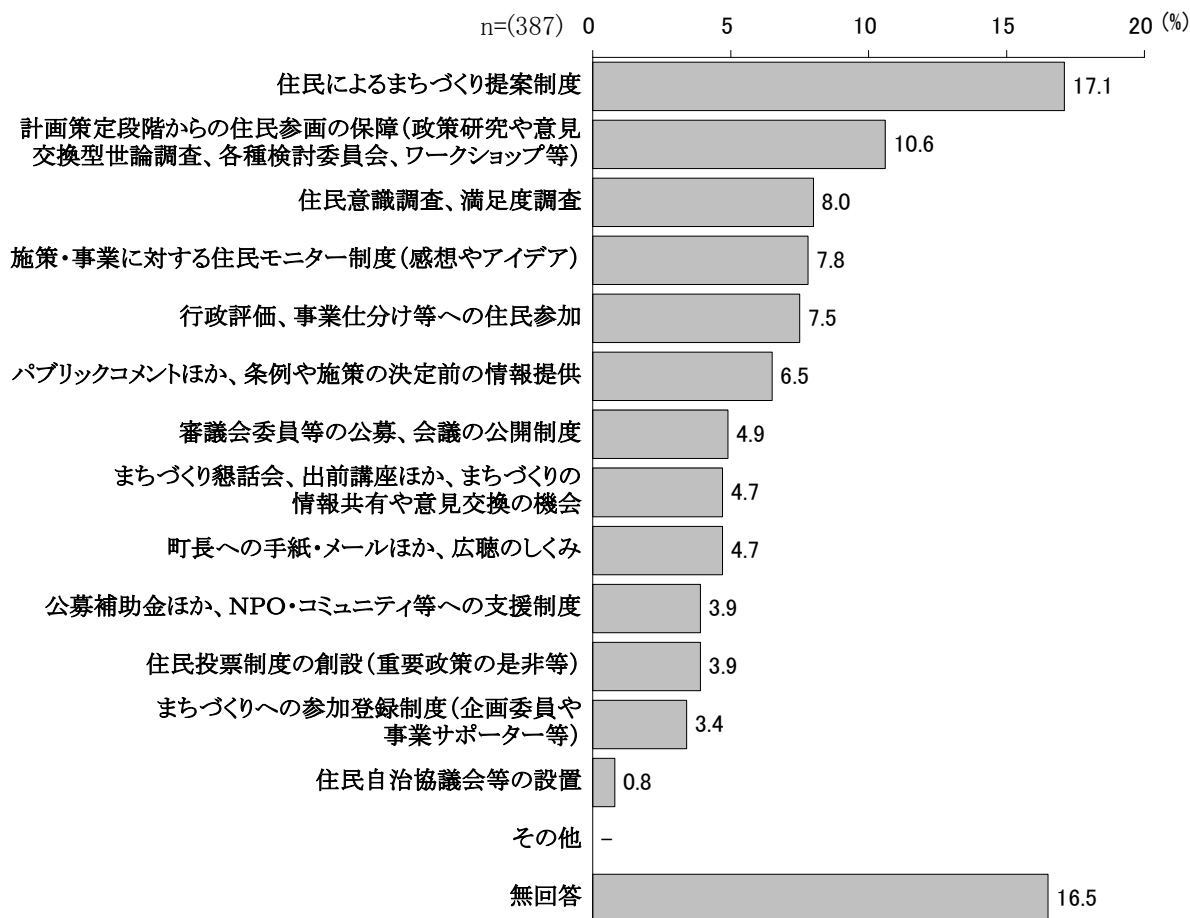
第1位

(%)

	n	まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会	計画策定段階からの住民参画の保障(政策研究や意見交換型世論調査、各種検討委員会、ワークショップ等)	住民によるまちづくり提案制度	審議会委員等の公募、会議の公開制度	住民意識調査、満足度調査	町長への手紙・メールほか、広聴のしくみ	施策・事業に対する住民モニター制度(感想やアイデア)	行政評価、事業仕分け等への住民参加
全体	387	28.7	12.9	9.6	9.0	5.9	5.2	4.1	3.6
年齢別	18、19歳	7	-	42.9	42.9	-	-	-	14.3
	20歳代	20	30.0	-	10.0	15.0	5.0	15.0	5.0
	30歳代	50	12.0	16.0	12.0	8.0	12.0	8.0	10.0
	40歳代	59	23.7	20.3	15.3	6.8	5.1	1.7	3.4
	50歳代	57	26.3	14.0	7.0	10.5	7.0	5.3	7.0
	60歳代	83	34.9	12.0	6.0	13.3	4.8	3.6	3.6
	70歳以上	109	37.6	8.3	7.3	5.5	4.6	5.5	0.9
居住地域別	上富	42	21.4	19.0	9.5	9.5	-	9.5	4.8
	北永井	64	31.3	4.7	9.4	7.8	3.1	3.1	7.8
	藤久保	204	29.4	12.3	9.3	8.8	8.3	4.9	2.9
	竹間沢	45	26.7	22.2	13.3	8.9	6.7	2.2	4.4
	みよし台	27	37.0	14.8	3.7	7.4	3.7	7.4	3.7

	n	住民投票制度の創設(重要政策の是非等)	パブリックコメントほか、条例や施策の決定前の情報提供	公募補助金ほか、NPO・コミュニティ等への支援制度	まちづくりへの参加登録制度(企画委員や事業サポーター)	住民自治協議会等の設置	その他	無回答
全体	387	3.1	2.3	1.8	1.0	0.3	-	12.4
年齢別	18、19歳	7	-	-	-	-	-	-
	20歳代	20	5.0	10.0	-	-	-	-
	30歳代	50	6.0	4.0	2.0	2.0	-	6.0
	40歳代	59	3.4	1.7	1.7	-	1.7	-
	50歳代	57	1.8	5.3	1.8	1.8	-	10.5
	60歳代	83	4.8	-	3.6	-	-	9.6
	70歳以上	109	0.9	0.9	0.9	1.8	-	22.0
居住地域別	上富	42	2.4	7.1	-	-	2.4	14.3
	北永井	64	6.3	1.6	6.3	1.6	-	14.1
	藤久保	204	2.0	2.5	1.0	1.5	-	12.7
	竹間沢	45	4.4	-	2.2	-	-	4.4
	みよし台	27	3.7	-	-	-	-	14.8

## ■ 第2位



第2位は、「住民によるまちづくり提案制度」が17.1%で最も多く、次いで「計画策定段階からの住民参画の保障（政策研究や意見交換型世論調査、各種検討委員会、ワークショップ等）」が10.6%となっている。

年齢別にみると、「住民によるまちづくり提案制度」が60歳代と70歳以上、「計画策定段階からの住民参画の保障（政策研究や意見交換型世論調査、各種検討委員会、ワークショップ等）」が40歳代と60歳代でやや高くなっている。

居住地域別にみると、竹間沢で「住民によるまちづくり提案制度」が高い。みよし台で「計画策定段階からの住民参画の保障（政策研究や意見交換型世論調査、各種検討委員会、ワークショップ等）」、北永井で「住民意識調査、満足度調査」がやや高くなっている。

第2章 調査結果の詳細

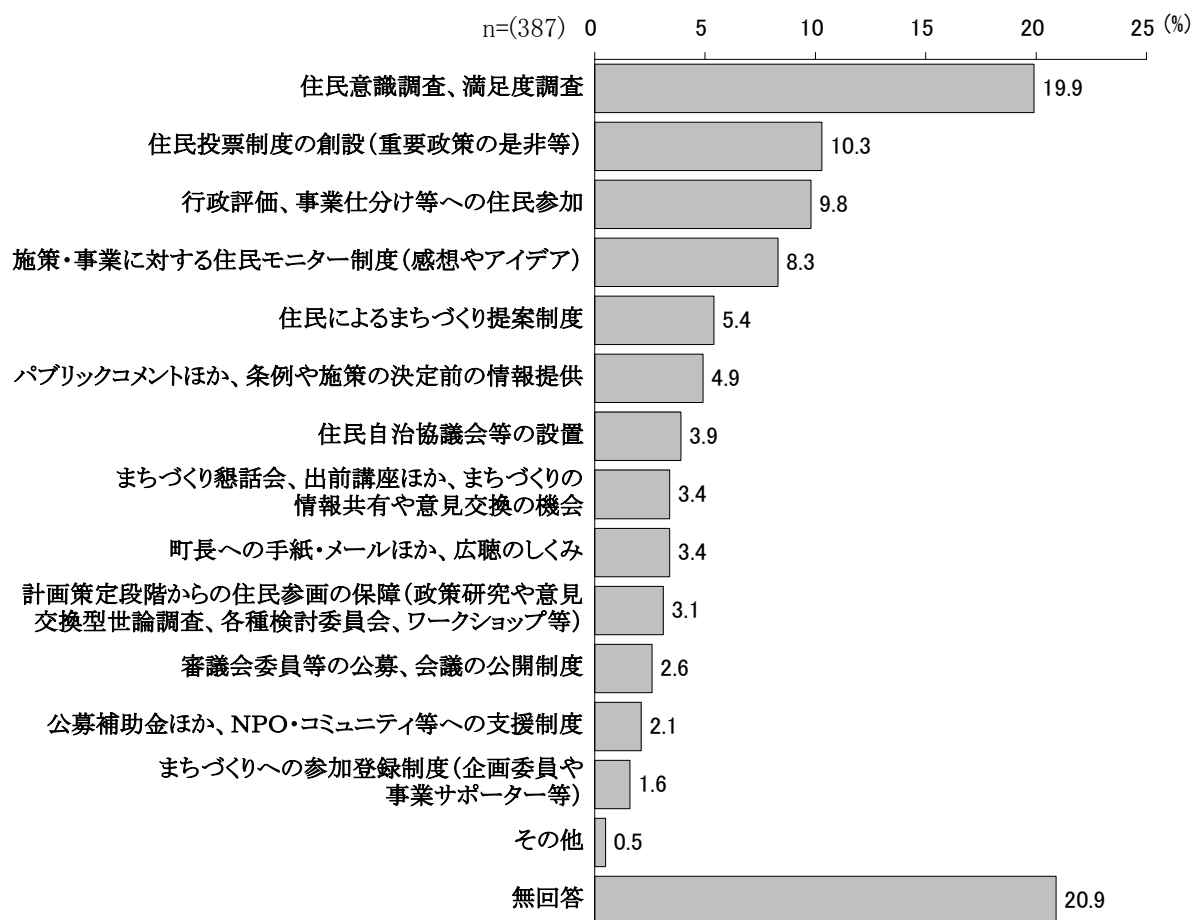
年齢別、居住地域別 行政活動への参加や協働のまちづくりを進めるためのしくみとして大切なこと  
第2位

(%)

	n	住民によるまちづくり提案制度	計画策定段階からの住民参画の保障(政策研究や意見交換型世論調査、各種検討委員会、ワークショップ等)	住民意識調査、満足度調査	施策・事業に対する住民モニター制度(感想やアイデア)	行政評価、事業仕分け等への住民参加	パブリックコメントほか、条例や施策の決定前の情報提供	審議会委員等の公募、会議の公開制度	まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会	
全体	387	17.1	10.6	8.0	7.8	7.5	6.5	4.9	4.7	
年齢別	18、19歳	7	-	14.3	14.3	-	14.3	-	-	
	20歳代	20	10.0	10.0	10.0	5.0	15.0	10.0	10.0	
	30歳代	50	12.0	6.0	12.0	12.0	8.0	4.0	12.0	
	40歳代	59	10.2	16.9	10.2	13.6	10.2	3.4	8.5	3.4
	50歳代	57	17.5	10.5	8.8	7.0	10.5	3.5	8.8	1.8
	60歳代	83	21.7	13.3	4.8	3.6	9.6	7.2	2.4	4.8
	70歳以上	109	21.1	7.3	6.4	5.5	1.8	6.4	2.8	2.8
居住地域別	上富	42	9.5	7.1	7.1	4.8	7.1	4.8	7.1	2.4
	北永井	64	10.9	10.9	17.2	3.1	9.4	4.7	7.8	1.6
	藤久保	204	18.1	10.8	7.4	9.3	5.4	7.4	4.4	5.4
	竹間沢	45	26.7	8.9	2.2	8.9	17.8	8.9	2.2	6.7
	みよし台	27	18.5	14.8	3.7	11.1	3.7	3.7	3.7	3.7

	n	町長への手紙・メールほか、広聴のしくみ	公募補助金ほか、NPO・コミュニティ等への支援制度	住民投票制度の創設(重要政策の是非等)	まちづくりへの参加登録制度(企画委員や事業サポーター)	住民自治協議会等の設置	その他	無回答
全体	387	4.7	3.9	3.9	3.4	0.8	-	16.5
年齢別	18、19歳	7	-	14.3	28.6	-	-	-
	20歳代	20	10.0	-	5.0	-	-	5.0
	30歳代	50	6.0	-	4.0	2.0	-	10.0
	40歳代	59	3.4	-	6.8	1.7	-	11.9
	50歳代	57	8.8	7.0	1.8	1.8	-	12.3
	60歳代	83	1.2	6.0	3.6	4.8	2.4	14.5
	70歳以上	109	4.6	4.6	1.8	5.5	0.9	28.4
居住地域別	上富	42	7.1	7.1	9.5	2.4	2.4	21.4
	北永井	64	3.1	3.1	3.1	4.7	-	20.3
	藤久保	204	6.4	3.4	2.5	3.9	0.5	15.2
	竹間沢	45	-	-	4.4	2.2	-	11.1
	みよし台	27	-	11.1	7.4	-	3.7	14.8

## ■ 第3位



第3位は、「住民意識調査、満足度調査」が19.9%で最も多く、次いで「住民投票制度の創設(重要政策の是非等)」が10.3%、「行政評価、事業仕分け等への住民参加」が9.8%、「施策・事業に対する住民モニター制度(感想やアイデア)」が8.3%となっている。

年齢別にみると、「住民意識調査、満足度調査」が20歳代と60歳代、70歳以上、「行政評価、事業仕分け等への住民参加」が40歳代と50歳代でやや高くなっている。

居住地域別にみると、上富と藤久保、みよし台で「住民意識調査、満足度調査」、北永井と竹間沢で「住民投票制度の創設(重要政策の是非等)」、竹間沢とみよし台で「行政評価、事業仕分け等への住民参加」がやや高くなっている。

第2章 調査結果の詳細

年齢別、居住地域別 行政活動への参加や協働のまちづくりを進めるためのしくみとして大切なこと  
第3位

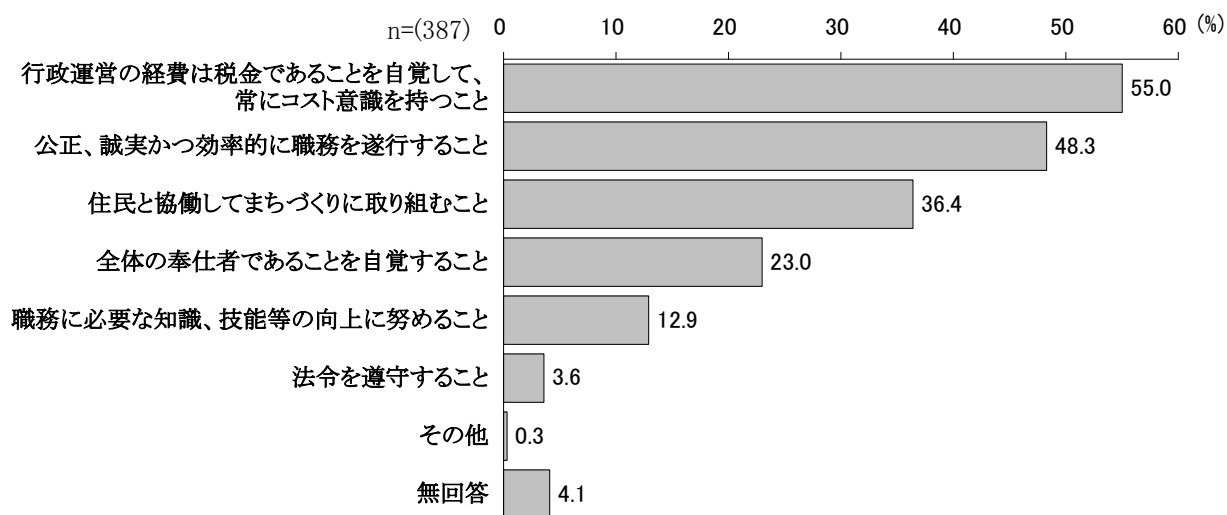
(%)

	n	住民意識調査、満足度調査	住民投票制度の創設(重要政策の是非等)	行政評価、事業仕分け等への住民参加	施策・事業に対する住民モニター制度(感想やアイデア)	住民によるまちづくり提案制度	パブリックコメントほか、条例や施策の決定前の情報提供	住民自治協議会等の設置	まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会	
全体	387	19.9	10.3	9.8	8.3	5.4	4.9	3.9	3.4	
年齢別	18、19歳	7	42.9	-	-	28.6	-	14.3	-	14.3
	20歳代	20	20.0	5.0	5.0	5.0	-	15.0	5.0	5.0
	30歳代	50	16.0	6.0	6.0	10.0	14.0	6.0	-	10.0
	40歳代	59	16.9	13.6	15.3	5.1	5.1	6.8	-	5.1
	50歳代	57	17.5	10.5	14.0	14.0	5.3	3.5	5.3	1.8
	60歳代	83	21.7	9.6	9.6	7.2	6.0	3.6	7.2	2.4
	70歳以上	109	22.0	12.8	8.3	6.4	2.8	2.8	4.6	-
居住地域別	上富	42	21.4	4.8	4.8	9.5	4.8	7.1	4.8	-
	北永井	64	15.6	14.1	6.3	10.9	7.8	3.1	4.7	1.6
	藤久保	204	20.6	9.8	10.3	7.4	6.9	3.9	3.9	3.4
	竹間沢	45	17.8	15.6	15.6	4.4	-	8.9	2.2	11.1
	みよし台	27	25.9	7.4	14.8	11.1	-	7.4	3.7	-

	n	町長への手紙・メールほか、広聴のしくみ	計画策定段階からの住民参画の保障(政策研究や意見交換型世論調査、各種検討委員会、ワークショップ等)	審議会委員等の公募、会議の公開制度	公募補助金ほか、NPO・コミュニティ等への支援制度	まちづくりへの参加登録制度(企画委員や事業サポーター等)	その他	無回答	
全体	387	3.4	3.1	2.6	2.1	1.6	0.5	20.9	
年齢別	18、19歳	7	-	-	-	-	-	-	
	20歳代	20	5.0	10.0	5.0	15.0	-	-	5.0
	30歳代	50	6.0	8.0	2.0	-	4.0	2.0	10.0
	40歳代	59	1.7	3.4	5.1	5.1	3.4	-	13.6
	50歳代	57	3.5	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	15.8
	60歳代	83	4.8	1.2	2.4	1.2	1.2	-	21.7
	70歳以上	109	1.8	1.8	1.8	-	-	-	34.9
居住地域別	上富	42	4.8	-	2.4	4.8	2.4	-	28.6
	北永井	64	1.6	6.3	4.7	-	1.6	1.6	20.3
	藤久保	204	4.4	2.9	2.5	2.0	1.0	0.5	20.6
	竹間沢	45	-	2.2	2.2	4.4	4.4	-	11.1
	みよし台	27	3.7	3.7	-	-	-	-	22.2

## (4) 条例策定にあたり、町長、職員の責務として大切なこと

問11 条例策定にあたって、町長、職員の責務として、大切だと思う項目を選んでください。  
(2つ以内に○)



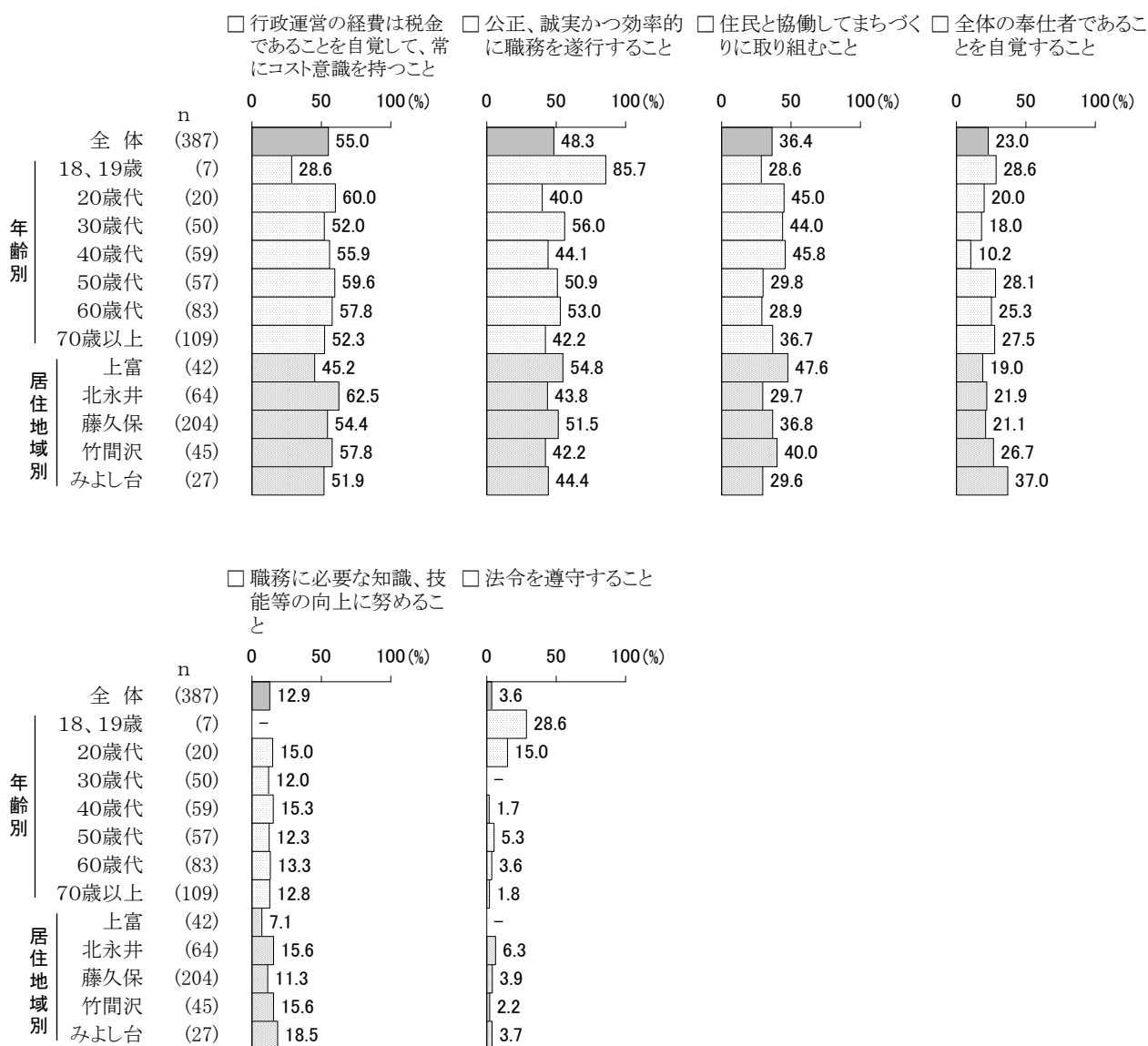
条例策定にあたり、町長、職員の責務として大切なことは、「行政運営の経費は税金であることを自覚して、常にコスト意識を持つこと」が55.0%、「公正、誠実かつ効率的に職務を遂行すること」が48.3%とともに多く、以下「住民と協働してまちづくりに取り組むこと」が36.4%、「全体の奉仕者であることを自覚すること」が23.0%、「職務に必要な知識、技能等の向上に努めること」が12.9%となっている。

## 第2章 調査結果の詳細

年齢別にみると、「行政運営の経費は税金であることを自覚して、常にコスト意識を持つこと」が18、19歳以外の年代、「公正、誠実かつ効率的に職務を遂行すること」が30歳代・50歳代・60歳代で高い。また、「住民と協働してまちづくりに取り組むこと」が20歳代から40歳代でやや高くなっている。

居住地域別にみると、上富以外で「行政運営の経費は税金であることを自覚して、常にコスト意識を持つこと」、上富・藤久保で「公正、誠実かつ効率的に職務を遂行すること」、上富で「住民と協働してまちづくりに取り組むこと」がそれぞれ高くなっている。

### 年齢別、居住地域別 条例策定にあたり、町長、職員の責務として大切なこと

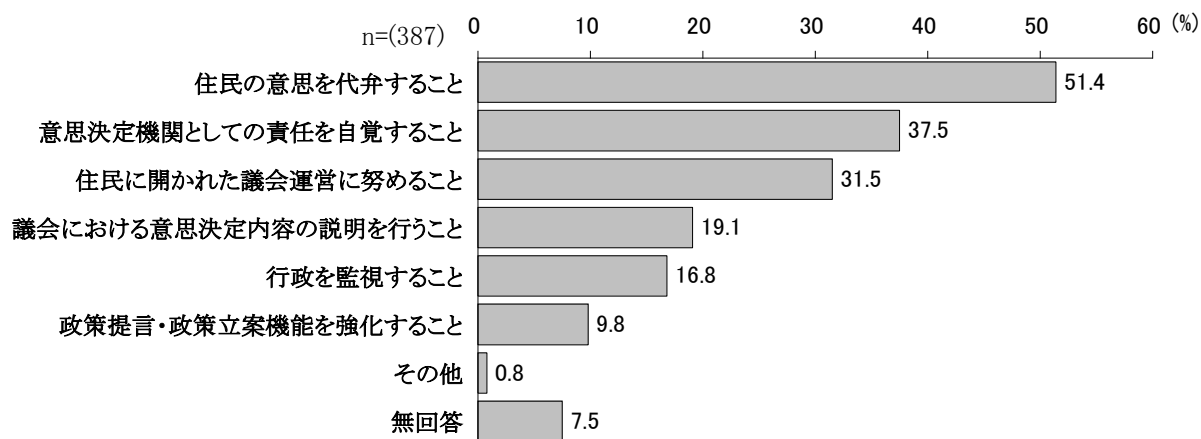




## (5) 条例策定にあたり、議会の責務として大切なこと

問12 条例策定にあたって、議会の責務として、大切だと思う項目を選んでください。

(2つ以内に○)



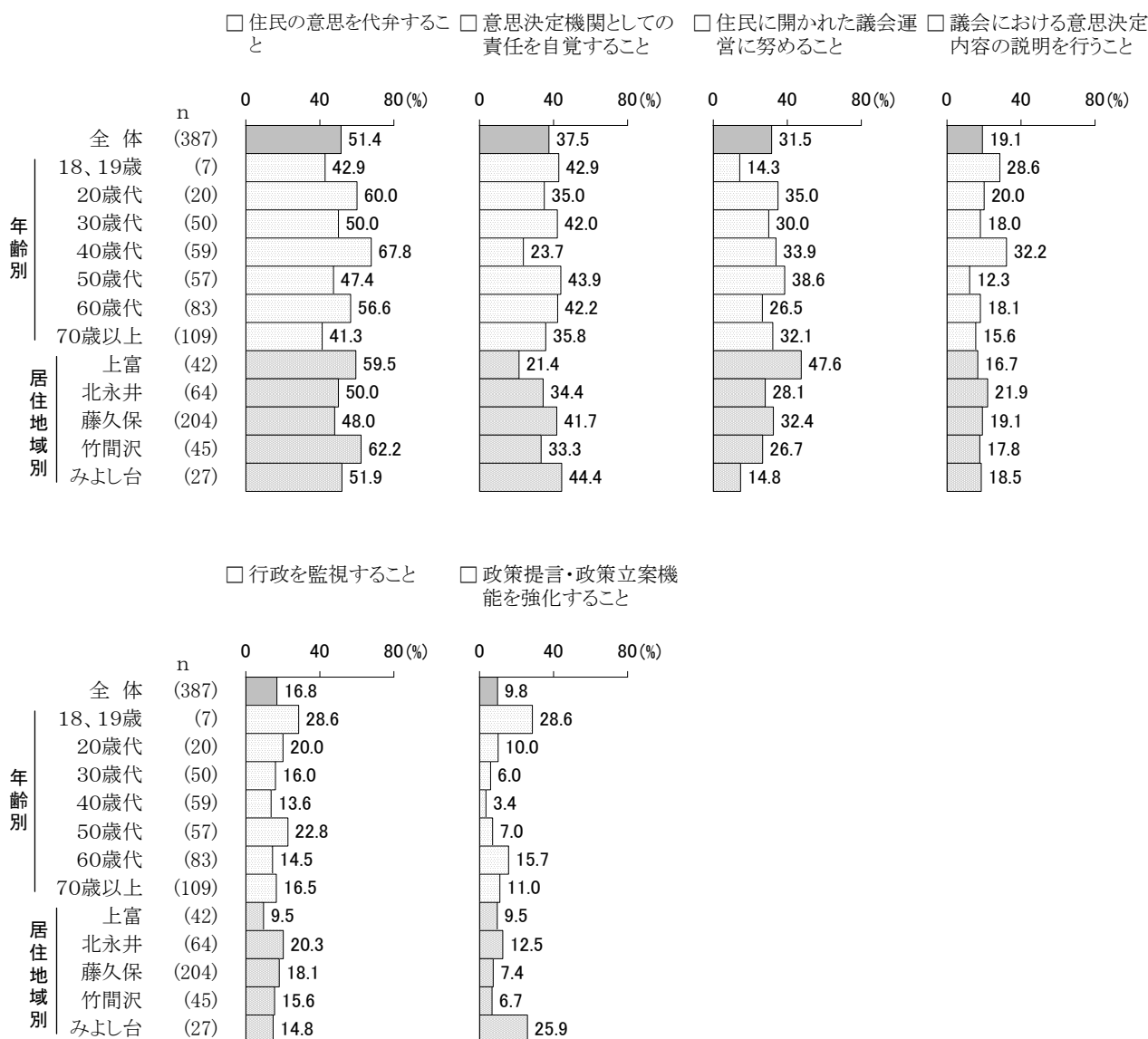
条例策定にあたり、議会の責務として大切なことは、「住民の意思を代弁すること」が51.4%で最も多く、次いで「意思決定機関としての責任を自覚すること」が37.5%、「住民に開かれた議会運営に努めること」が31.5%、「議会における意思決定内容の説明を行うこと」が19.1%、「行政を監視すること」が16.8%となっている。

## 第2章 調査結果の詳細

年齢別にみると、「住民の意思を代弁すること」が20歳代と40歳代、「意思決定機関としての責任を自覚すること」が30歳代・50歳代・60歳代で高い。また、「住民に開かれた議会運営に努めること」が50歳代、「議会における意思決定内容の説明を行うこと」が40歳代でやや高くなっている。

居住地域別にみると、上富・竹間沢で「住民の意思を代弁すること」、藤久保・みよし台で「意思決定機関としての責任を自覚すること」、上富で「住民に開かれた議会運営に努めること」がそれぞれ高くなっている。

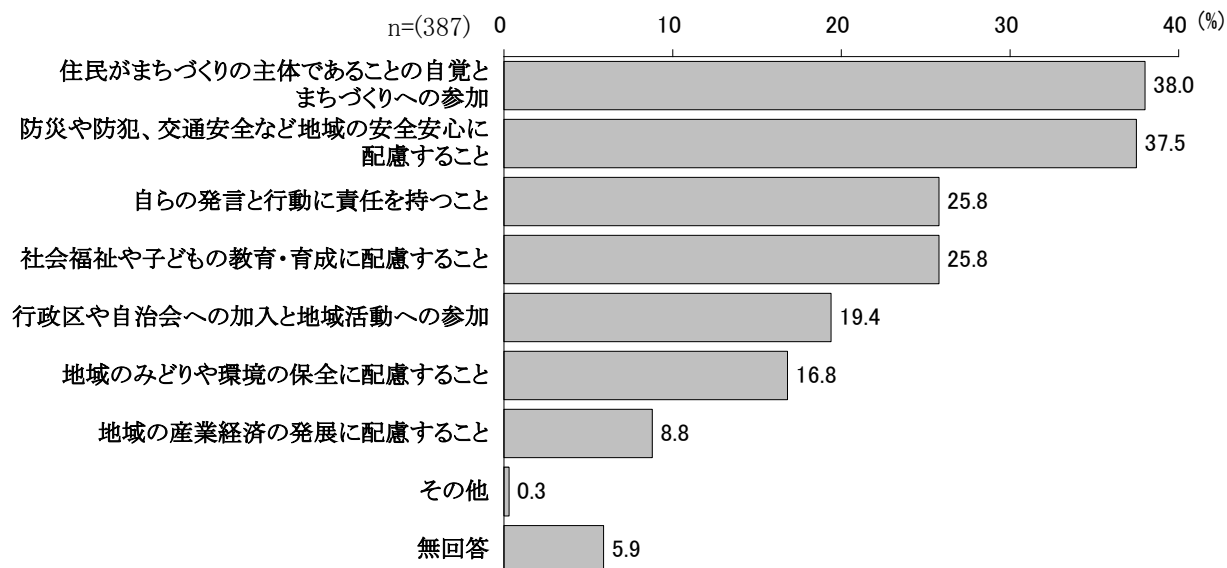
### 年齢別、居住地域別 条例策定にあたり、議会の責務として大切なこと



## (6) 条例策定にあたり、住民の責務として大切なこと

問13 条例策定にあたって、住民の責務として、大切だと思う項目を選んでください。

(2つ以内に○)



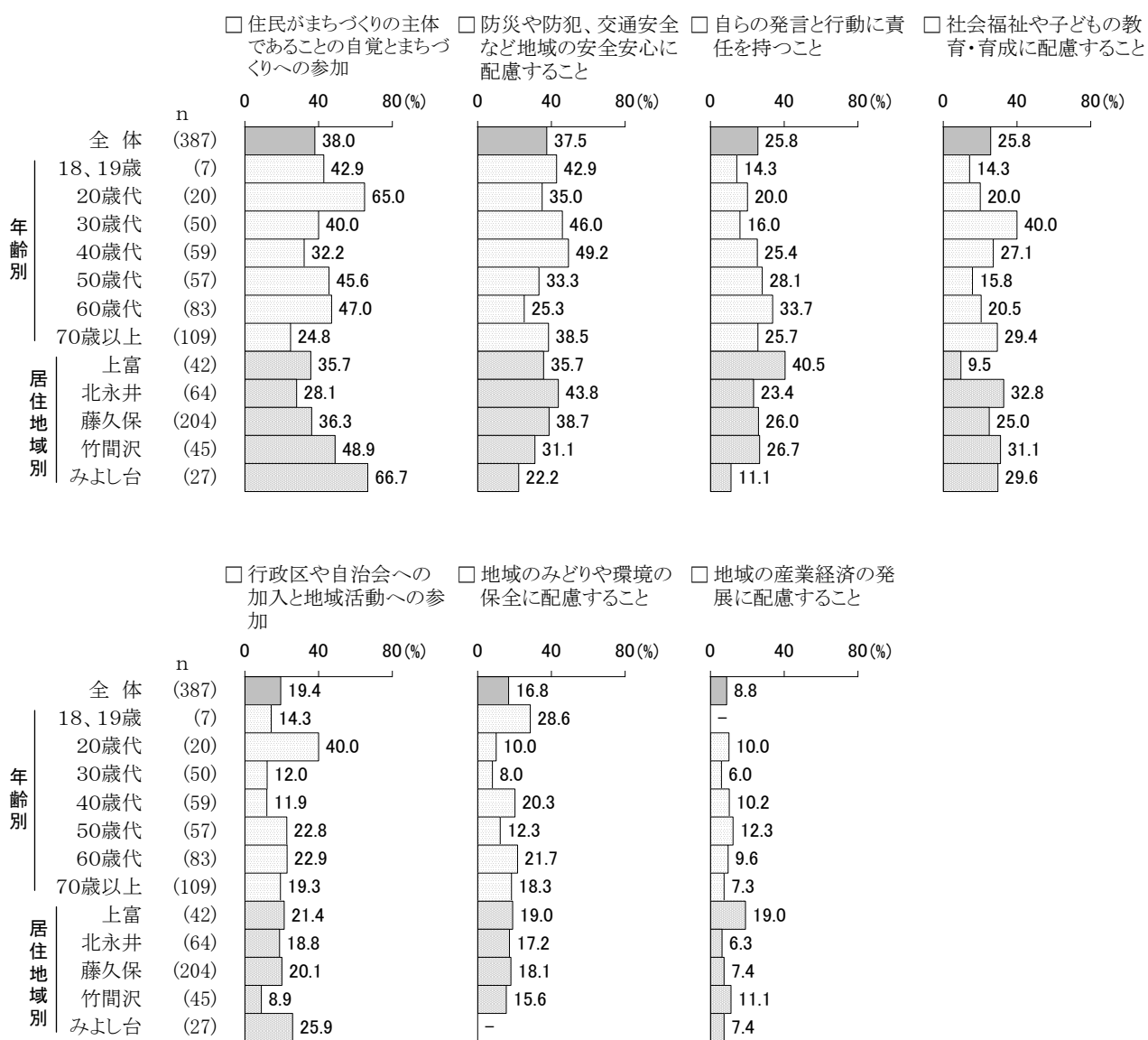
条例策定にあたり、住民の責務として大切なことは、「住民がまちづくりの主体であることの自覚とまちづくりへの参加」が38.0%、「防災や防犯、交通安全など地域の安全安心に配慮すること」が37.5%とともに多く、以下「自らの発言と行動に責任を持つこと」と「社会福祉や子どもの教育・育成に配慮すること」がともに25.8%、「行政区や自治会への加入と地域活動への参加」が19.4%、「地域のみどりや環境の保全に配慮すること」が16.8%となっている。

## 第2章 調査結果の詳細

年齢別にみると、「住民がまちづくりの主体であることの自覚とまちづくりへの参加」が20歳代・50歳代・60歳代、「防災や防犯、交通安全など地域の安全安心に配慮すること」が30歳代と40歳代、「社会福祉や子どもの教育・育成に配慮すること」が30歳代、「行政区や自治会への加入と地域活動への参加」が20歳代で高い。また、「自らの発言と行動に責任を持つこと」が60歳代でやや高くなっている。

居住地域別にみると、竹間沢・みよし台で「住民がまちづくりの主体であることの自覚とまちづくりへの参加」、北永井で「防災や防犯、交通安全など地域の安全安心に配慮すること」、上富で「自らの発言と行動に責任を持つこと」が高い。また、北永井・竹間沢で「社会福祉や子どもの教育・育成に配慮すること」がやや高くなっている。

### 年齢別、居住地域別 条例策定にあたり、住民の責務として大切なこと



## 6. 自治基本条例の制定や住民自治、行政運営、まちづくり等に関する意見・提案

自治基本条例の制定や住民自治、行政運営、まちづくり等に関する意見・提案を自由に記入していただいたところ、137人から回答が寄せられた。記入された回答の内容を分類したところ、延べ174件となった。なお、一人の回答が複数の内容にわたる場合は複数回答として、それぞれの項目に分類している。

自治基本条例・まちづくり全般 …………… 105件

内 容	件 数
1 条例理念、必要性や策定手法	16
2 住民主体・参加・協働	7
3 住民責任・自覚	8
4 意見反映	12
5 住みやすさ・活力	11
6 自立・ビジョン、行政・議会等の役割	12
7 情報公開・説明責任	7
8 コミュニティ	11
9 安全安心	13
10 財政・税金、行財政改革	6
11 その他	2
総合計	105

個別意見・要望等 …………… 69件

内 容	件 数
1 道路・交通・都市整備	23
2 みどり・環境、産業・観光	17
3 福祉・医療・介護	8
4 子ども・教育・文化スポーツ	7
5 職員意識・制度見直し	10
6 管財・公共施設、人権その他	4
総合計	69

以下に主な意見・提案を掲載している。同じ人が他にもう一つの分野で意見を述べている場合は、分野ごとに掲載している。

### 自治基本条例・まちづくり全般

#### 条例理念、必要性や策定方法

- ・自治の理念を住民に説明する機会を。(40代・藤久保)
- ・公平・公正に制定され、速やかに施行を。(40代・藤久保)
- ・条例に興味持って見守りたい。(70代以上・竹間沢)
- ・近年、町は身近な行政になりつつあるが、条例は身近に思えない。議会も制定に当たって住民代表であることを再認識して声に耳を傾けること。誰にも分かりやすい条例にして。(50代・上富)
- ・制定のメリット・デメリットが分からない。何がかわるのか。(50代・北永井)  
全町民が満足の条例は不可能なため、中立・公平な条例を。町民全員が手を取り合う町に。  
(60代・北永井)
- ・なぜ今自治基本条例？行政の責任回避とアライバイづくりでは。3割自治を放置して条例の実効性が担保されるのか。(60代・北永井)
- ・分かりやすく身近な条例を。(40代・藤久保)
- ・地区代表による提案・検討を。(70代以上・北永井)  
良くなることを期待。町長と職員が仲良くやりその証を示すこと。(70代以上・北永井)
- ・アンケート記載項目はすべて大切なこと。(策定に)退職サラリーマンの参画を。(60代・竹間沢)
- ・明るく楽しいまちづくりを期待。条例言語は平易で誰もがわかる日本語を。(70代以上・藤久保)
- ・アンケート回収だけにならぬよう、意見の反映を。(70代以上・藤久保)  
制定された条例を厳守して、町の発展のため効果的かつ着実に実行を。住民と町長・職員が一体となって努力。(70代以上・竹間沢)
- ・条例策定に携わる人は常識者と信じてお任せしたい。(70代以上・竹間沢)
- ・住民全体の条例を希望。(60代・藤久保)

#### 住民主体・参加・協働

- ・住民参加のまちづくりで活気あるまちを期待。(50代・藤久保)
- ・住民がまちづくりの主体であることを強調して。住民参加の機会を増やすこと。(70代以上・みよし台)
- ・まちづくりは住民参加、協働が必須。どの場面で参加・協働するか理念をまとめること。  
(70代以上・みよし台)
- ・行政と住民の身近なつながり。(60代・藤久保)
- ・住民・行政間の絆強化の効果。(70代以上・藤久保)
- ・(行政と)住民との連携。(70代以上・藤久保)
- ・住民の自治への参加意識向上。(60代・上富)

### 住民責任・自覚

- ・一人ひとりが意識して良いまちづくりを。(20代・竹間沢)
- ・みんなが興味をもち賛同できるまちづくりに向けた条例を。(30代・藤久保)
- ・住民の地域の中での位置づけや役割が町の活力につながる。(50代・藤久保)
- ・住民が行政に関心をもつようになること。(50代・藤久保)
- ・住民一人一人の責任の理解。譲り合い精神。町民としてのプライド。(40代・みよし台)
- ・権利だけでなく、住民の責務を喚起する。(70代以上・みよし台)
- ・自らの発言と行動に責任を持つこと。(70代以上・藤久保)
- ・住民も行政参加意識や自己責任が高くなり、改革のスピードが速くなる。(70代以上・藤久保)

### 意見反映

- ・住民の意思を形にする行動力のある町。(30代・藤久保)
- ・住民の意見を取り入れたまちづくり。(40代・藤久保)
- ・条例制定で住民意見が反映されやすくなることを期待。(50代・藤久保)
- ・町長への手紙・メールはいい仕組みだが、十分に機能していない。(70代以上・北永井)
- ・住民意見が反映され、住民と行政が一丸となったまちづくり効果を期待。(18～19歳・藤久保)
- ・少数派意見も反映を。(30代・藤久保)
- ・住民の意見が反映されやすくなる。(20代・みよし台)
- ・一部の声高な意見に左右されず、本来のあるべき行政運営を。(50代・みよし台)
- ・良いまちを目指すなら、住民の声をもっと聞いて。(40代・藤久保)
- ・住民意見が反映されれば行政に期待し、良いまちになる。(50代・藤久保)
- ・住民意見が生かされたまちづくり。(60代・北永井)
- ・住民意見を取り上げて協議し、公平公正に実践に結びつける。(40代・藤久保)

### 住みやすさ・活力

- ・活性化で住みやすい環境を期待。(40代・藤久保)
- ・住みよいまちづくりを期待。(30代・上富)
- ・豊かで活力ある住みよいまち(40代・竹間沢)
- ・住み続けたい町。(40代・竹間沢)
- ・今以上に暮らしやすいまちを期待。(50代・北永井)
- ・きめ細かな住民サービス、暮らしやすいまちづくりにつなげて。(40代・藤久保)
- ・高齢者、若者が住みやすいまちに。(70代以上・北永井)
- ・三芳は今でも住みやすい町。職員も親切で感謝。(70代以上・北永井)
- ・生活の安定。(70代以上・藤久保)
- ・子どもや高齢者が住みやすいまち。(60代・藤久保)

### 自立・ビジョン、行政・議会の役割

- ・住みよいまちづくりに努める。(60代・北永井)
- ・他より進んだ三芳ならではの住民サービスの取組み。(50代・藤久保)
- ・住民と行政、高い意識で個性豊かで活力ある自治体を目指す。(60代・北永井)
- ・住民の必要な提言が議会で否決されないことを期待。(30代・上富)
- ・役場業務、議会の改革につなげる。(50代・北永井)
- ・三芳町の良さをもっと PR。住んでよかったと思えることを一つでも二つでも実感できる施策を。(50代・竹間沢)
- ・国に頼らず、町独自のやりかたで町を良くする。(30代・藤久保)
- ・町長・議員・職員が心一つにして住みよいまちを。(60代・みよし台)
- ・住民・行政・議会が一体となったまちづくり(政治的対立を超えて)。(60代・藤久保)
- ・議員は立場を自覚し、深く広く勉強して、町のためにつくして。(70代以上・竹間沢)
- ・独立自治ができる町。(40代・藤久保)
- ・議会のみならず、住民全体の目標を明確にして長期的視野でまちづくりを。議会・住民の役割明確化。(40代・藤久保)
- ・職員・議員・住民の自覚と意識向上。(50代・藤久保)

### 情報公開・説明責任

- ・開かれた不透明部分のない行政と議会(40代・北永井)
- ・行政を住民に分かりやすくすれば、住民も行動でき、自覚をもって暮らしやすい町になる。(30代・上富)
- ・情報共有しわかりやすく政策の説明を。政策の事業仕分けを。(20代・藤久保)
- ・情報公開、アナログ派にも。(40代・藤久保)
- ・情報公開(公表・広報)をもっと分かりやすく。(50代・藤久保)
- ・町政情報を開示し、透明性のある行財政運営を。(30代・藤久保)
- ・情報の開示と説明責任を。(50代・藤久保)

### コミュニティ

- ・高齢化で自治参加が希薄に。(30代・上富)
- ・自治会の高齢化、若者誘致を。(40代・北永井)
- ・近所づきあいが苦手。(40代・北永井)
- ・地域参加・近隣との交流・協働のまちづくりで絆を。(50代・北永井)
- ・「コミュニティと思いやり」「子どもの教育」「大人の責任」がまちづくりの基本。(30代・竹間沢)
- ・自治会費値上げの不満。(40代・藤久保)
- ・自治会脱会者増えて機能マヒに。町全体としてコミュニティを回復させること。(50代・藤久保)
- ・町づくりを地域でがばってるので、行政のバックアップが必要。(70代以上・北永井)
- ・自治会脱退者・非加入多い現状、役員負担要因。地域社会に対する意識向上を。自治会を高度に。(70代以上・藤久保)



- ・自治会に意見が言えない雰囲気。自治会費が公平に還元されない。(70代以上・竹間沢)
- ・自治会の弱体化、助け合い意識の希薄化。(70代以上・藤久保)

### 安全安心

- ・事故等がゼロになるようなこと。(30代・藤久保)
- ・安心して暮らせるまちづくり。(40代・藤久保)
- ・安心安全ですみよいまちづくり。(40代・北永井)
- ・子どもから高齢者までに優しく、安心安全なまちづくりを期待。(40代・藤久保)
- ・地震・災害に対する防災や防犯等の危機管理体制の確立を。(50代・藤久保)
- ・住民が安全安心に暮らせる環境の町に。(60代・藤久保)
- ・規律ある、安心生活のまちづくり。(60代・藤久保)
- ・安心安全でよりよいまちづくり。(70代以上・北永井)
- ・災害時のペット対応を。(60代・竹間沢)
- ・老人・子ども、みんな笑顔で安心して暮らせる町政を。(70代以上・藤久保)
- ・安全で治安のいいまち。(30代・藤久保)
- ・自然豊か。安全安心で子どもたちのいるまち。(40代・藤久保)
- ・人命優先。(30代・藤久保)

### 財政・税金、行財政改革

- ・財政黒字の保持。(40代・竹間沢)
- ・税金を一部の人ではなく、未来を見据えて公平に使うこと。(50代・藤久保)
- ・税金が何に役立っているのか実感できる生活がしたい。(40代・上富)
- ・税金を大切に。(50代・上富)
- ・財政難ならそれを隠さず、住民と行政が痛みを分かち合う。何でも住民サービスではなく、できることは住民の手で。(60代・藤久保)
- ・住民(客観)評価を勘案した行政。(50代・藤久保)

### その他

- ・青年がまちづくりのポイント(60代・上富)
- ・個人情報保護や法令遵守等は行政・公務員には当然なのでアンケートの選択肢にすることは不適切(30代・上富)

個別意見・要望等

**道路・交通・都市整備**

- ・カーブミラー設置要望（40代・藤久保）
- ・路線バス増便で高齢者の元気を（60代・藤久保）
- ・藤久保からふじみ野方面に抜ける道を（60代・藤久保）
- ・ダイエー前歩道設置、農薬含む土ぼこりの問題（40代・藤久保）
- ・小さな道も整備、外灯設置を（30代・北永井）
- ・歩道整備に何年もかけたり、意味がわからない補修工事。子どもの安全第一に（30代・北永井）
- ・通学路を企業バスが通行して危険（30代・竹間沢）
- ・狭い道路の歩道の安全性、ガードレールなど。横断歩道・信号もない（30代・竹間沢）
- ・子どもから高齢者まで安心して歩ける町。循環バス拡大。一部ではなく町全体の声を聞いて（40代・竹間沢）
- ・道路のゴミ。道路せまく自転車と歩行者すれ違い危険。道路整備にお金をかける。地域のお祭り・イベントを（20代・藤久保）
- ・町全体が暗く汚い。外灯も少なく子どもを安心して育てられない（30代・藤久保）
- ・高齢者の為、（空白地帯に）ライフバスを（40代・藤久保）
- ・区画整理で分かりやすい地番を（60代・藤久保）
- ・鶴瀬西通り線の254までの早期開通を（60代・藤久保）
- ・安心して永住、老後の住宅対策（70代以上・北永井）
- ・ライフバス運行時間帯の改善。バス停が暗くて危険。総合病院移転でバスルートが不便に（70代以上・北永井）
- ・地番が複雑、早期に住居表示を（70代以上・藤久保）
- ・町並みが汚くなった。美しいまちづくりを（70代以上・上富）
- ・特に歩行者の安全安心の環境づくり（70代以上・藤久保）
- ・必要な場所に信号がない（70代以上・藤久保）
- ・道路状況の改善。西通り線～R254の改善（40代・藤久保）
- ・道路整備や外灯が不十分で治安が心配。役場や議会は努力を（50代・藤久保）
- ・広い道路と花壇のある明るい町。高齢者等が病院・スーパー・銀行に通いやすいよう、町の隅々まで回る小型循環バス（60代・北永井）

**みどり・環境・産業・観光**

- ・子どもが遊べる公園を（30代・藤久保）
- ・三富新田を町の誇りとして（緑や農地を）守り続ける（30代・藤久保）
- ・ゴミ、タバコ、自転車運転等のマナー改善の条例を（40代・藤久保）
- ・道路のゴミ多い（投げ捨て）（50代・竹間沢）
- ・緑をなるべく残して（50代・藤久保）
- ・自然・みどりの共有の利点と教育（50代・藤久保）
- ・三芳PA生かし、ソバ・イモで観光PR、きれいな町づくり（60代・北永井）

- ・大きな公園やテーマパークが欲しい (30代・藤久保)
- ・設備の整ったみんなが集える広場 (公園) があるとよい (60代・藤久保)
- ・雑木林・みどりの保全を (40代・北永井)
- ・小さな子どもに遊具を (30代・藤久保)
- ・環境が改善されたという実感が得られなければ意味がない (40代・藤久保)
- ・みどりのある公園を (60代・藤久保)
- ・林や道路のごみ等町全体のごみ清掃をシルバー委託しては？ (60代・竹間沢)
- ・畑や林の減少、環境と地産地消。労働力とポイント制 (60代・不明)
- ・防災機能を考慮した広い (森林) 公園を (70代以上・藤久保)
- ・緑に満ちた町 (40代・竹間沢)

### 福祉・医療・介護

- ・介護の充実。困っている人たち、子どもたちが普通に生活や教育を受けられること (70代以上・藤久保)
- ・生活保護制度を都合よく利用して働かない人に不満 (30代・北永井)
- ・高齢者世帯の支援。住民同士助け合う共生社会を (60代・みよし台)
- ・子ども医療費の自治体負担を高校3年まで延長を (50代・藤久保)
- ・安心して過ごせる老後施設 (50代・藤久保)
- ・公民館利用で高齢者が元気に (60代・藤久保)
- ・スポーツの場はあるが、高齢者の集まれる場所が通える場所にあるとよい (70代以上・北永井)
- ・医療受診時の能率が悪い (70代以上・藤久保)

### 子ども・教育・文化・スポーツ

- ・学校の清掃、整備。部活の環境づくり (60代・藤久保)
- ・交流・レクの機会を (母子家庭) (30代・藤久保)
- ・子どもたちが高い教育レベル (40代・竹間沢)
- ・教育相談員には教職員OBでなく一般の人を採用して (50代・竹間沢)
- ・少子化も重要だが、一生住み続けられるよう高齢化も考慮して (50代・藤久保)
- ・子どもたちと老人の対話や遊びがない (70代以上・藤久保)
- ・子どもが楽しめるイベントを。子どもにかかるお金の負担軽減を (30代・藤久保)

### 職員意識・制度見直し

- ・職員給与見直しを (50代・藤久保)
- ・公務員にあぐらをかき、決まったことしかしない職員がまだいる (60代・藤久保)
- ・職員の意識改革で、住民と新しい発想を共有、子どもたちによい町を (20代・上富)
- ・職員が多い。経費削減を (40代・藤久保)
- ・職員ボーナス・退職金の見直し (50代・上富)
- ・役場内各課のコンセンサス活性化を (70代以上・北永井)

## 第2章 調査結果の詳細

- ・職員が変わることを期待。仕事に見合う給料を（50代・竹間沢）
- ・昼食時のローテーションは？職員のおしゃべり気になる（60代・藤久保）
- ・職員給与が国より高いようだが（60代・藤久保）
- ・職員はもっとテキパキ動いて（40代・上富）

### **管財・公共施設・人権その他**

- ・公共施設（道路等含む）の改善に期待（40代・竹間沢）
- ・町の環境整備と無駄な公共工事の削減（30代・藤久保）
- ・町民の為の施設設置（プール・公園）（60代・藤久保）
- ・若いお母さんが安心して働けるように（70代以上・藤久保）

## 第3章 調査票



## 三芳町自治基本条例策定準備会

町では、平成23年政策研究所の成果を受け、平成24年5月から「(仮称)三芳町自治基本条例」の策定準備をはじめています。本アンケートは、自治基本条例についてのPRと今後の策定段階での参考・基礎資料とさせていただくために実施いたします。アンケートへのご回答にご協力お願いいたします。

- ・このアンケートは、広く住民の皆様のご意見を反映させることができるよう、18歳以上の方1000人を無作為抽出し送付させていただきました。
- ・個々のご意見について、直接個別の回答はいたしませんのでご了承ください。
- ・未回答の問いが残りましても、ぜひご返送ください。
- ・このアンケート用紙に直接ご記入いただき、別添の返信用封筒で3月15日までにご投函ください。(切手は不要です)

— それでは、お伺いいたします。 —

(回答方法は、特に指定がある場合を除き該当する番号に○をつけてください。)

### 【自治基本条例の認知度についてお伺いします】

(1) あなたは、自治基本条例を知っていますか。

- ① どのようなものか良く知っている
- ② 名前は聞いたことがある
- ③ 知らない

※この質問で①と答えた方は、次へお進みください。②③と答えた方は、同封の「自治基本条例とは？」をご覧ください。

### 【あなた自身についてお伺いします】

(2) あなたの年齢を教えてください。

- ① 18、19歳    ② 20歳代    ③ 30歳代    ④ 40歳代
- ⑤ 50歳代    ⑥ 60歳代    ⑦ 70歳以上

(3) あなたのお住まいの地域を教えてください。

- ① 上富    ② 北永井    ③ 藤久保    ④ 竹間沢    ⑤ みよし台

(4) あなたは、これからも三芳町に住み続けたいと思っていますか。

- ① はい    ② いいえ    ③ どちらともいえない

(5) あなたは、三芳町にお住まいになって何年になりますか。

- ①生まれてからずっと ②1年未満 ③1年以上3年未満  
④3年以上5年未満 ⑤5年以上10年未満 ⑥10年以上20年未満  
⑦20年以上

**【現在の三芳町についてお伺いします】**

(6) 三芳町の生活で良いと思う点、改善すべき点を下の①～⑱の中からそれぞれ選んでください。(各3つ以内)

良い点(      /      /      )      改善すべき点(      /      /      )

- ①コミュニティ(行政区・自治会など)      ②住民と行政の協働  
③住民活動(ボランティア・サークルなど)      ④道路・外灯・住宅・上下水道  
⑤交通安全・防災・防犯      ⑥交通の利便性      ⑦みどり・公園  
⑧ゴミ・資源・衛生      ⑨福祉・健康・医療      ⑩産業・観光・雇用  
⑪子育て・青少年育成      ⑫教育      ⑬生涯学習・文化・スポーツ  
⑭議会      ⑮町の施設・設備      ⑯各種まちづくり計画  
⑰その他(      )

**【これからの三芳町のまちづくりについてお伺いします】**

(7) 三芳町の行政に特に望むことは何ですか。(○は1つ)

- ①安全・安心      ②教育・子育て      ③環境      ④行政改革  
⑤福祉      ⑥健康・介護      ⑦みどり      ⑧情報公開・共有  
⑨産業・観光      ⑩都市整備・道路  
⑪その他(      )

**【自治基本条例についてお伺いします】**

(8) 自治基本条例に定めるのは、一般的に次のような項目が挙げられますがその中で大切だと思う順に3つご記入ください。

大切だと思うもの(      /      /      )

- ①まちづくりの方向性や将来像  
②住民と行政による協働のまちづくり  
③住民の権利(生活権、町政への参加権など)と責務  
④町長や職員、議会の責務  
⑤住民参加の手続き・しくみ(制度)  
⑥行財政情報やまちづくり情報の公開・共有  
⑦町の総合振興計画の策定  
⑧行財政改革の位置づけ  
⑨人権の尊重  
⑩良好な地域コミュニティの形成  
⑪その他(      )



(9) 町政運営の基本ルールとして、大切だと思う順に3つご記入ください。

大切だと思うもの ( \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ )

- ①個人情報保護
- ②情報公開、情報共有
- ③行政の説明責任
- ④機能的・効率的な行政組織
- ⑤議会による行政監視
- ⑥危機管理体制の確立
- ⑦財源の効果的・効率的活用、財産の計画的運用・管理及びその公表
- ⑧意見、要望、苦情等への誠実な対応
- ⑨近隣自治体との連携
- ⑩国際交流、多文化共生
- ⑪その他 ( \_\_\_\_\_ )

(10) 行政活動への参加や協働のまちづくりを進めるためのしくみを、大切だと思う順に3つご記入ください。

大切だと思うもの ( \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ )

- ①まちづくり懇話会、出前講座ほか、まちづくりの情報共有や意見交換の機会
- ②審議会委員等の公募、会議の公開制度
- ③町長への手紙・メールほか、広聴のしくみ
- ④計画策定段階からの住民参画の保障（政策研究や意見交換型世論調査、各種検討委員会、ワークショップ等）
- ⑤住民によるまちづくり提案制度
- ⑥公募補助金ほか、NPO・コミュニティ等への支援制度
- ⑦まちづくりへの参加登録制度（企画委員や事業サポーター等）
- ⑧施策・事業に対する住民モニター制度（感想やアイデア）
- ⑨行政評価、事業仕分け等への住民参加
- ⑩パブリックコメントほか、条例や施策の決定前の情報提供
- ⑪住民意識調査、満足度調査
- ⑫住民投票制度の創設（重要政策の是非等）
- ⑬住民自治協議会等の設置
- ⑭その他 ( \_\_\_\_\_ )

(11) 条例策定にあたって、町長、職員の責務として、大切だと思う項目を選んでください。（2つ以内に○）

- ①住民と協働してまちづくりに取り組むこと
- ②全体の奉仕者であることを自覚すること
- ③行政運営の経費は税金であることを自覚して、常にコスト意識を持つこと
- ④公正、誠実かつ効率的に職務を遂行すること



三芳町自治基本条例についてのアンケート調査報告書

平成25年8月発行

発行 三芳町 自治安心課

〒354-8555 埼玉県入間郡三芳町大字藤久保1100番地1

電話 049-258-0019 (内線267)